

令和6年第3回

区づくり推進横浜市会議員会議次第

日時 令和6年9月6日(金)
9時30分から
会場 鶴見区総合庁舎6階
8・9号会議室

1 開 会

2 座長あいさつ

3 区長あいさつ

4 議 題

- (1) 令和5年度 鶴見区個性ある区づくり推進費決算について
- (2) 令和6年度 個性ある区づくり推進費自主企画事業費の執行状況について
- (3) 令和7年度 鶴見区予算編成の考え方について (案)

5 その他

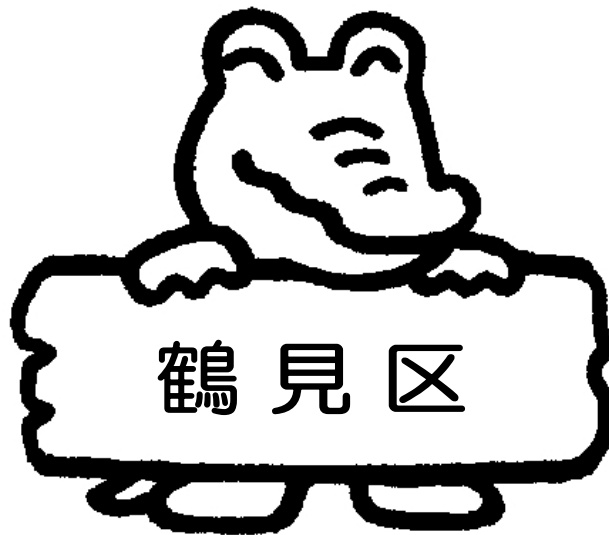
(仮称) 豊岡町複合施設再編整備事業について

6 閉 会

令和6年第3回

区づくり推進横浜市会議員会議

会議資料



令和6年9月6日

目 次

議題 1

令和 5 年度 鶴見区個性ある区づくり推進費 決算について
..... P 1

議題 2

令和 6 年度 鶴見区個性ある区づくり推進費
自主企画事業費の執行状況について
..... P 37

議題 3

令和 7 年度 鶴見区予算編成の考え方について（案）
..... P 73

令和6年第3回

区づくり推進横浜市会議員会議

議 題 1

**令和5年度 鶴見区個性ある区づくり推進費
決算について**

令和5年度 鶴見区個性ある区づくり推進費 決算	3
1 地域力の強化	
1 防災活動推進事業【重点】	4
2 放置自転車対策事業	6
3 交通安全推進事業	7
4 鶴見区防犯活動支援事業	8
5 自治会町内会振興事業	9
6 つるみ・地域の課題解決事業	10
7 鶴見区新たなチャレンジ応援事業	10
8 鶴見・あいねっと推進事業	11
9 「広げよう見守りの輪」推進事業	12
2 区内経済・活力の向上	
10 「千客万来つるみ」プロモーション事業	13
11 多文化のまち・つるみ推進事業【重点】	13
12 商店街魅力発信事業	15
13 地域活性化支援事業	16
14 地域文化・区民活動推進事業	16
15 区民スポーツ振興事業	18
3 子どもから大人まで安心・元気に	
16 ヘルスアッププラン	19
17 感染症対策事業	21
18 鶴見区障害児・者暮らしいきいき事業	22
19 鶴見区高齢者はつらつ生活応援事業	23
20 つるみDE子育て応援事業【重点】	24
21 つるみの未来を育てる保育所事業	26
22 鶴見区虐待予防事業	27
23 生活衛生サポート事業	28
24 青少年健全育成事業	29
25 鶴見区環境行動推進事業	30
26 つるみクリーンタウン事業	31
4 区民サービスの向上	
27 鶴見区広報・広聴事業	33
28 発見つるみ！～データでみる鶴見区～	33
29 鶴見区人材育成推進事業	34
30 魅力ある区役所づくり事業	34

令和5年度 鶴見区個性ある区づくり推進費 決算

(単位：千円)

区 分	予 算	決 算	差 引
自主企画事業費 区が独自に企画し、区が自ら執行する事業に係る経費	109,824	104,793	5,031
地域力の強化 (災害に強いまちづくり、地域の力やつながりを育むまちづくり)	34,971	28,973	5,998
区内経済・活力の向上 (多文化共生のまちづくり、鶴見の魅力を活かしたまちづくり)	30,958	30,672	286
子どもから大人まで安心・元気に (福祉のまちづくり)	23,884	23,298	586
区民サービスの向上 (おもてなしの気持ちあふれるサービス提供)	20,011	21,849	△ 1,838
一般管理費	823,431	828,344	△ 4,913
統合事務費 区の事務・運営を行うために必要な経費	32,292	33,289	△ 997
統合事業費 各区で共通している事業で区の裁量が少ない事業に係る経費	19,546	18,943	603
区庁舎・区民利用施設管理費 区庁舎・区民利用施設の管理運営に係る経費 (補正予算 6,767千円含む)	771,593	776,112	△ 4,519
個性ある区づくり推進費 計	933,255	933,137	118

令和5年度個性ある区づくり推進費自主企画事業費等決算

1 地域力の強化

事業番号 1 防災活動推進事業【重点】	決算額
	予算 (14,700,000 円)
	決算 (13,671,510 円)
	差引 (1,028,490 円)

風水害、地震及び都市災害等に備え、地域における自助・共助の取組推進、感染症対策を踏まえた地域防災拠点及び区本部機能の強化・維持、関係機関等との連携を促進し、防災力の向上を図りました。

1 自助・共助推進事業

地域の防災イベント・研修会等の機会を捉えた防災啓発を実施したほか、地域における共助のための自主的な取組に対して補助金を交付しました。

(1) 防災講座による啓発活動【拡充】

地区ごとの災害リスクや防災関連施設等の情報を分かりやすくまとめた「地区別防災データ集」を用いて防災講座を行いました。

ア 出前防災講座
実施：6～3月（延33回）
会場：自治会町内会館、防災訓練会場、各地域ケアプラザ等

イ つるみっこ防災塾（小学校高学年向け防災教室）
実施：通年（3校7回）
内容：地域特性、街歩き、マップ作り等の防災授業

ウ 京浜河川事務所が主催する鶴見川防災情報講座の支援
実施：9～10月（全3回）
対象：鶴見川沿いの連合町内会（1団体）

(2) 「まるごとまちごとハザードマップ」における啓発活動

地域ごとの浸水リスクや避難場所をひと目で認識できるよう、電柱等に掲示した「まるごとまちごとハザードマップ」について、より見やすい標示に見直して更新を行いました。

(3) 地域防災拠点の運営力強化【拡充】

地域防災の要である地域防災拠点について、資機材の点検・修繕を行うとともに、全31拠点に対して備蓄庫を適切に維持管理できるよう支援を行いました（備蓄庫の整理委託を9月から1月にかけて実施）。

また、地域防災拠点を担当する責任職（防災参与）等の研修を行いました。

ア 地域防災拠点参与研修：5月

イ 地域防災拠点運営委員会連絡協議会：5月

ウ 全地域防災拠点での運営訓練：9～2月（31拠点）

(4) 共助のための防災活動支援事業

地域防災力向上を目的として、共助のための自主的な活動に対し、補助金による支援を行いました。

(5) 鶴見川防災対策事業

鶴見区水防協議会の資機材購入支援や、鶴見川の防災機能整備促進・強化に向けた国への働きかけを行いました。

(6) つるみ生活・防災マップ

つるみ生活・防災マップを時点修正のうえ発行しました。

発行：12月

部数：12,000部

2 区本部機能等強化事業

実災害に対応するための区本部機能の強化を図りました。

(1) 災害対応力及び区本部機能の強化

ア 災害対策本部設置運営訓練及び職員研修の実施

区本部訓練：9、1月

職員研修：7～8月（全6回、全職員を対象に実施）

イ ICTの活用による区本部と地域防災拠点の情報共有機能の強化【新規】

区本部と地域防災拠点にICT機器を整備し、画像情報等をタイムリーに共有することで、区本部が拠点運営を迅速・的確に支援できるようにしました。

(2) 災害ボランティアネットワークへの活動支援

日常的な訓練や啓発活動、また、発災時に災害ボランティアセンターの運営が円滑に行われるよう支援を行いました。

3 災害時医療体制推進事業

迅速かつ適切な応急対応措置を講じるため、平時から関係機関・団体の連携・協力体制を構築します。

(1) 区内医療機関等との通信訓練

区役所（医療調整班本部）と区内医療機関、市医療局との間で、MCA無線及び衛星携帯電話による通信訓練を実施しました。

実施：毎月（奇数月：区→区内医療機関等、偶数月：区→市医療局）

※MCA無線：運輸・物流業務、バス運行業務、タクシー等で広く利用されている資格不要のデジタル簡易無線。

(2) 鶴見区災害医療連絡会議

行政と関係機関・団体の情報共有や意見交換を図りました。

開催：2回

構成員：鶴見区医師会、鶴見区歯科医師会、鶴見薬剤師会、済生会横浜市東部病院、汐田総合病院、佐々木病院、平和病院、鶴見大学、鶴見警察署、鶴見消防署、鶴見区社会福祉協議会、鶴見区役所

(3) 鶴見区災害医療訓練

鶴見区災害医療連絡会議の関係団体と情報受伝達及びのぼり旗掲出の訓練を行いました。

① 状況を付与した通信訓練

実施：11月

会場：各参加団体の執務室等

参加団体：区内医療機関（13機関）及び関係団体（5団体）

使用機器等：MCA無線、衛星携帯電話、災害時優先携帯電話、EMIS（イーミス）広域災害救急医療情報システム、「診療中」「開局中」の旗 など

② のぼり旗掲出訓練

実施：1月、3月

参加団体：鶴見区医師会、鶴見区歯科医師会、鶴見薬剤師会

■■ 関連する事業 ■■

【区配事業】地域の防災力を向上させる防災啓発事業（総務局）

若年層における防災意識向上を図るため小学校と連携し、防災を学ぶ授業の一環として、横浜市民防災センターの見学会等を実施しました。

【区配事業】横浜市地域防災活動支援事業（総務局）

地域防災拠点運営委員会の自主的な活動を奨励し、地域防災拠点の運営を円滑に行えるよう、助成金を交付しました。

【区配事業】町の防災組織活動支援事業（総務局）

災害による被害の予防・軽減のため、自治会町内会や共同住宅の管理組合を単位として自主防災活動を行う「町の防災組織」を支援するため補助金を交付しました。

【統合事業】緊急時情報システム運用事業

災害等に関する緊急情報を、電話を利用して区から直接、地域の防災組織の長（自治会町内会長）等に対して発信し、あわせて双方向機能を活用して受信状況を確認するシステムを運用しました。

事業番号 2 放置自転車対策事業	決算額
	予算 (4,707,000 円) 決算 (4,516,110 円) 差引 (190,890 円)
駅周辺において、安全で安心なまちづくりができるように、自転車等放置防止推進協議会の円滑な活動を支援するとともに、放置台数の多い箇所を中心に放置自転車対策を行いました。	
1 放置禁止区域内重点対策 放置禁止区域のうち特に放置自転車の多いJR鶴見駅・京急鶴見駅を中心に、駐輪場の利用促進や放置禁止の呼びかけを行う監視員を配置（夜間）するとともに、撤去・移動事業を行う道路局と連携して放置防止対策を実施しました。	

- 2 自転車等放置防止推進協議会への支援
各駅協議会の啓発活動を支援しました。
対 象：6 駅（JR 鶴見駅・京急鶴見駅・生麦駅・鶴見市場駅・矢向駅・尻手駅）
補助金交付：6 月 交付団体数：6 団体

■■ 関連する事業 ■■

【局事業】 放置自転車等移動・撤去業務 （道路局）

J R 鶴見駅・京急鶴見駅周辺を重点とし、区内 6 駅周辺の自転車等放置禁止区域内に放置されている自転車等の移動・撤去を行いました。

【区配事業】 自転車等放置防止監視員業務委託（昼間） （道路局）

J R 鶴見駅・京急鶴見駅周辺を中心に、自転車等放置禁止区域内の自転車利用者に対して指導を行いました。

事業番号 3 交通安全推進事業	決 算 額
	予算 (2,069,000 円) 決算 (1,431,631 円) 差引 (637,369 円)
<p>安全で安心なまちづくりに向け、交通安全の普及啓発活動を推進するとともに、交通事故防止の対策を進めました。</p> <p>1 交通安全啓発事業 各季全国安全事業に合わせて取り組むとともに、警察署等関係機関と連携して、区交通安全対策協議会を運営し、講習会など効果的な啓発活動を展開しました。</p> <p>(1) 交通安全運動 実施:各季運動（4月、7月、9月、12月） 新入学児童・園児を交通事故から守る運動(4月) 強化月間運動 ・自転車マナーアップ（5月） ・二輪車交通事故防止・暴走族追放（6月） ・違法駐車、放置自転車・バイククリーンキャンペーン（10月） ・飲酒運転根絶（12月）</p> <p>(2) 区交通安全対策協議会の運営 ア 幹事会・区自治連合会交通部連絡協議会 実施：2回 イ 総会 実施：3月 ウ 交通安全功労者表彰 区内における交通安全と事故防止及び啓発に貢献した人・団体を表彰しました。</p>	

(3) 交通安全講習会

ア はまっ子交通安全教室

実施：22回

会場：区内小学校 22校

イ チリリンスクール（自転車乗り方教室）

会場：区内小学校 22校

ウ 自転車事故防止の安全教室・講習会

実施：3回

会場：自治会・町内会など

参加者：300人

(4) 新入学児童向けランドセルカバーの配布

鶴見交通安全協会と協力して、鶴見区マスコットキャラクター“ワックン”のイラスト入りランドセルカバーを製作し、新入学児童に配布しました。

2 学校への支援

区内小学校 22校に設置しているスクールゾーン対策協議会を支援しました。

また、通学路の安全を確保するために、土木事務所、警察署と協議・連携しながら、通学路の点検を実施し、路面表示等の新設・補修・撤去を行いました。

事業番号 4

鶴見区防犯活動支援事業

決算額

予算 (2,080,000円)

決算 (2,078,810円)

差引 (1,190円)

地域防犯力の向上のため、区民の防犯意識を高めるとともに、地域の自主防犯活動を支援しました。

1 防犯啓発活動

(1) 地域防犯リーダー研修会

自治会町内会の防犯部等を対象に地域の防犯リーダーの研修会を開催しました。

実施：2月9日（金） 参加者：79名

(2) 犯罪発生情報の提供

メーリングリスト登録者（区民）向けに犯罪発生情報を提供しました。

(3) 振り込め詐欺の注意喚起

警察や関係機関と連携しながら、区民への注意喚起を実施しました。

2 子ども防犯活動支援事業

(1) 保育園児に対する子ども防犯教室の開催

実施：6～3月（年10回）

(2) 「子ども110番の家」のプレートの提供

実施：8月

枚数：200枚

(3) 児童下校時見守り活動

実施：毎月10日（横浜市子ども安全の日）

参加団体：横浜市建設業協会鶴見区会、区役所、学援隊等

3 地域防犯活動支援事業

地域の自主防犯活動や犯罪発生防止の支援を行いました。

(1) 防犯パトロール

児童の見守り及び振り込め詐欺発生抑止を目的とした防犯パトロールを実施しました。また、自治会町内会などの自主防犯活動を支援するため、防犯パトロール活動に必要な物品を提供しました。

防犯パトロール委託 実施回数：年間12回

(2) 迷惑電話防止機器の貸与

振り込め詐欺対策のため、鶴見警察署・鶴見区自治連合会・鶴見区防犯協会と連携し、区内の高齢者世帯に迷惑電話防止機器を貸与しました。

台数：年211台。

事業番号 5

自治会町内会振興事業

決算額

予算 (3,694,000 円)

決算 (3,936,225 円)

差引 (△242,225 円)

地域活動の振興等に関連する行政や団体からの情報提供や、自治会町内会の活動支援を行いました。

1 地域振興連絡事業

区自治連合会の定例会後、自治会町内会に行政・団体からの情報や依頼事項等の資料配布を行いました。

実施：毎月（8月を除く）

2 地域活動支援事業【拡充】

ICTを活用した自治会町内会の課題解決や地域活動の促進を支援しました。

実施：通年

ICTコンサルティング派遣：延べ12団体

ICT活用補助金交付団体数：5団体

3 自治会町内会長感謝会

自治会町内会長永年在職者に対して感謝状や記念品を贈呈しました。

実施：3月

感謝状対象：自治会町内会長5年

（対象者数：18名）

記念品対象：自治会町内会長5年毎、地区連合町内会長10年毎

（対象者数：29名）

■■ 関連する事業 ■■

【区配事業】地域活動推進費 (市民局)

自治会町内会及び地区連合町内会の公益的活動に対して補助金を交付するとともに、市・区との連絡調整や地域活動への加入促進事業等に取り組む区連合町内会へ補助金を交付し、その活動を支援しました。

また、市政及び区政に対する協力活動に対する謝礼として、地区連合町内会長に報償費を交付しました。

【区配事業】自治会町内会館整備助成事業 (市民局)

自治会町内会が行う自治会・町内会館の整備に関する費用に対して、その一部を助成しました。

事業番号 6 つるみ・地域の課題解決事業	決 算 額
	予算 (4,000,000 円) 決算 (843,634 円) 差引 (3,156,366 円)
地域課題のうち、地域主体の取組だけでは解決が困難かつ早急に解決が必要な事案等に対し、区として機動的に対応するための支援や調査を実施しました。 (地域からの要望等で6件の委託を実施)	

事業番号 7 鶴見区新たなチャレンジ応援事業	決 算 額
	予算 (1,220,000 円) 決算 (721,000 円) 差引 (499,000 円)
区民や企業・団体等が自主的に実施する地域の課題解決に向けた活動に対し、補助事業の実施やアドバイザー派遣等による支援を行いました。	
1 鶴見区新たなチャレンジ応援補助金事業 地域の課題解決に取り組む団体等が、その解決のために新たな活動を始めるためのスタートアップを支援しました。 交付団体数：8団体	
2 鶴見区地域活動支援アドバイザー派遣事業 地域の課題解決に取り組む団体等が活動を継続・発展させるため、アドバイザーを派遣しました。(3月実施)	
3 地元企業を対象とした地域貢献講座【新規】 多くの企業や工場が立地する鶴見区の特徴を活かし、企業が地域活動に参画するためのノウハウを学ぶ地域貢献講座を実施することで、企業と地域の関係が深まり協働の取組が進む機会を作りました。(3月実施)	

■■ 関連する事業 ■■

【区配事業】地域の担い手応援事業（市民局）

地域の様々な課題解決に取り組む活動のきっかけづくりや、地域の各団体等が連携して、自主的・継続的に地域課題の解決に取り組む活動を支援しました。

（事業内容）

協働の「地域づくり大学校」

地域や地域活動に関心のある区民と職員の相互交流やネットワークづくりを行うとともに、地域活動に関わるきっかけづくりや地域課題の解決・地域の魅力づくりに向けた実践的な内容を学ぶ場として、地域団体との協働による連続講座等を実施しました。

事業番号 8 鶴見・あいねっと推進事業	決算額
	予算（1,031,000円） 決算（796,923円） 差引（234,077円）
<p>鶴見区地域福祉保健計画（鶴見・あいねっと）に基づき、地域やボランティア団体等との協働により福祉保健を中心とした様々な地域課題の解決に取り組みました。</p> <p>1 第4期区計画の推進 3年度から7年度までを計画期間とする第4期計画について、その推進を図りました。</p> <p>（1）鶴見・あいねっと推進委員会 区内福祉関係者等からなる推進委員会を開催しました。 推進委員会：7月、1月</p> <p>（2）地区別計画の推進 地域と地区別支援チームの協働により、第4期地区別計画を推進し、地域福祉保健活動の充実を図りました。 会場：区内地域ケアプラザほか 参加者：延3,808人 <地区別支援チーム> 連合町内会ごとの地区別計画推進の支援を行う、区福祉保健センターの専門職・区社協職員・地域ケアプラザ職員等で構成するチーム。</p> <p>2 あいねっと推進フォーラムの開催 区計画の周知及び福祉保健活動への参加者を広げる目的で開催しました。 実施：2月 会場：鶴見公会堂 参加者：約250人</p>	

事業番号 9**「広げよう見守りの輪」推進事業****決算額**

予算 (1,470,000 円)

決算 (976,978 円)

差引 (493,022 円)

ひとり暮らし高齢者や災害時要援護者など支援を必要とする人に対し、日常的な見守りや訪問活動を充実させることにより、顔の見える関係づくりを進め、緊急時・災害時に地域で支えあう見守り体制の強化・促進を図りました。

1 定期訪問・見守り活動支援

民生委員に救急医療情報キット及び高齢者連絡票を配布し、緊急時の迅速な対応に役立てました。

また、熱中症や食生活啓発等の保健に関する配布物を企画するなど、民生委員が行う訪問・見守り活動の一助となる取組を進めました。

定期訪問・見守り活動対象者数： 2,809 名（6年3月末現在）

2 災害時要援護者支援の仕組みづくり

災害発生時に自助・共助が行われる地域を目指し、民生委員・児童委員、自治会・町内会に対して、災害時要援護者名簿を活用した取組事例の共有や地域と災害時要援護者の関係づくりを促すためのリーフレットを提供し、平常時からの災害に備えた地域の取組を支援しました。

< 災害時要援護者名簿の提供 >

令和5年4月1日現在

	自治会・町内会数	対象者数	名簿 登載者数	名簿 登載率
同意方式	26	2,345 人	1,369 人	約 58%
情報共有方式	100	7,632 人	6,497 人	約 85%
合計	126	9,977 人	7,868 人	約 79%

■■ 関連する事業 ■■**【区配事業】ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局）**

75歳以上ひとり暮らし高齢者等の名簿を、区役所から民生委員と地域包括支援センターに提供し、3者で共有して必要な支援につなげます。区内全地区で、名簿をもとに民生委員が各戸訪問等を実施しました。

【区配事業】災害時要援護者支援事業（健康福祉局）

災害時に自力避難が困難な要援護者の安否確認や避難支援等が円滑に行えるよう、災害時要援護者名簿を作成、地域に提供し、自主的な取組を支援しました。

2 区内経済・活力の向上

事業番号 10 「千客万来つるみ」プロモーション事業	決算額
	予算 (7,500,000 円) 決算 (7,770,153 円) 差引 (△270,153 円)
<p>地域の賑わいをさらに高めるため、鶴見区内の催事や点在する観光資源等を活かし、地域や企業等と連携して、プロモーション活動やイベントを実施しました。</p> <p>1 区の魅力づくり 令和4年度前期のNHK連続テレビ小説「ちむどんどん」では、鶴見区がドラマの舞台地として登場し、地域、団体、企業、大学等様々な主体と連携した取組を企画・実施しました。こうした地域の賑わいやつながりの発展に向け、引き続き、ニーズを的確に捉えながら、様々な主体との連携のもと、地域活性化策に取り組みました。</p> <p>◆主な取組 「鶴見ウチナー祭」の共催 参加者数：2日間で約7万人（※主催者発表） 「京急ののって横浜・鶴見に行こう！ 秋のイベント&みどころマップ」発行 オリジナルグッズ応募者数：265人</p> <p>2 区の魅力発信 「ことりっぷ横浜鶴見」や「沖縄タウン鶴見マップ」など、区内の見どころスポットやイベントなどを紹介する媒体を作成し、鶴見区の魅力発信に取り組みました。</p> <p>◆主な取組 ことりっぷ横浜鶴見の改訂・増刷 10,000部</p> <p>■■ 関連する事業 ■■</p> <p>【区配事業】 ガーデンシティ事業（環境創造局） ガーデンネックレス横浜 2023 開催に伴い、局と連携した事業を実施しました。 「JR鶴見線で巡る 緑のスタンプラリー2024」 開催期間：3月1日～31日 参加者数：845人</p>	

事業番号 11 多文化のまち・つるみ推進事業【重点】	決算額
	予算 (14,626,000 円) 決算 (14,184,784 円) 差引 (441,216 円)
<p>「鶴見区多文化共生のまちづくり宣言（平成20年6月）」に基づき、鶴見区の多文化共生を推進するための事業を実施します。</p> <p>1 生活情報の発信【拡充】 行政からの情報が届きにくい外国籍区民を対象に、広報よこはまに掲載されている情報や日常生活の役に立つ情報を、インターネットやFacebook等を使ってわかりやすく発信しました（週1回程度）。</p>	

また、外国籍区民が生活情報を気軽に入手できるようにするため、日常的に利用する小中学校や保育園、店舗等にリーフレット等を配置する「情報発信拠点」の設置を進めました（40 か所）。

2 タブレット端末による多言語対応事業

複数言語の対応が可能なタブレット端末による通訳サービスを実施します。

対応言語：英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語及びポルトガル語等

設置台数：9 台

※経費の一部は国際局予算を活用。

3 翻訳推進事業

庁内各課において作成した資料等の多言語翻訳について、区で取りまとめ、一括契約を行いました（翻訳言語数：10 か国語）。

4 多文化共生社会の実現に向けた調査・啓発事業

外国人区民を対象とした調査「鶴見区外国人意識調査」を実施し、各調査結果を関係機関や庁内会議において共有するとともに、結果を踏まえて「鶴見区多文化共生基本指針」の策定作業を行い、区全体の機運の醸成を図りました。

5 鶴見国際交流ラウンジ運営事業

外国人区民に対する相談対応や情報提供を行うとともに、区内の多文化共生を推進する取組を行いました。

(1) 相談対応・情報提供

ア 9 言語（英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語、日本語）による相談対応

イ 情報誌「鶴見国際交流ラウンジニュース」の発行

発行：年 5 回

ウ ホームページの運営

エ SNS を活用した情報発信

(2) 各種教室の実施

館内 Wi-Fi を活用したオンライン会議システムの活用など、状況に応じた新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、各種教室を実施しました。

ア 託児付日本語教室・暮らしのガイダンス

実施：13 回 参加者：延 55 組

イ 学習支援教室

日本語指導を必要とする子どもたちを対象に、小学生クラスと中学生クラスを設置。新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインでも実施しました。

ウ 外国人区民と日本人区民交流イベント

実施：15 回 参加者：延 345 人

エ 日本語ボランティア養成講座

(ア) 入門講座

実施：11 回 参加者：16 人

(イ) ブラッシュアップ講座

実施：6 回 参加者：延 125 人

■■ 関連する事業 ■■

【局事業】日本語支援推進事業（教育委員会事務局）

日本語指導が必要な児童生徒に対して、国際教室の設置をはじめ、母語による初期適応・学習支援、学校通訳ボランティア（保護者向け通訳）、日本語教室、プレクラス、学校ガイダンス、各種ガイドブックの発行等を行いました。

【区配事業】外国人の集住が進む区など5区の国際交流ラウンジ機能強化（国際局）

5区（鶴見・中・南・緑・都筑区）への地域課題解決・活躍促進専任スタッフの配置を行いました。

事業番号 12 商店街魅力発信事業	決算額
	予算（1,800,000円） 決算（2,619,485円） 差引（△819,485円）
地域コミュニティの核である商店街が地域と連携しながら、商店街の魅力を発信することにより、商店街の振興と地域のにぎわい創出に結びつくよう支援しました。	
1 鶴見区商店街魅力発信支援事業 商店街と地域が連携した事業に補助金を交付し、支援しました。 交付団体総数：8団体	
2 商店街にぎわい創出事業【拡充】 区内の複数商店街を周るスタンプラリーを実施することで来街を促し、商店街ににぎわいを創出しました。 実施：10～11月 参加商店街・店舗数：10商店街・61店舗 景品応募件数：251件	
■■ 関連する事業 ■■	
【区配事業】商店街活性化イベント助成事業（経済局） 商店街が行うイベントにかかる経費の一部を補助しました。	
【局事業】商店街環境整備支援事業（経済局） 商店街の行う街路灯や防犯カメラ、駐車場、舗道等のハード整備にかかる経費の一部を補助しました。（新設・改修・撤去）	
【局事業】安全・安心な商店街づくり事業（経済局） 商店街の街路灯の電気・ガス料金の一部を補助しました。	

事業番号 13 地域活性化支援事業	決算額
	予算 (3,500,000 円) 決算 (3,500,000 円) 差引 (0 円)
<p>新しい生活様式の中でも地域とのつながりを感じられるよう、二つの区民まつりの開催を支援しました。</p> <p>1 三ツ池公園(文化・環境)フェスティバル 区民が「文化・環境」と触れ合う機会を創ることで、区民の地域に対する興味・関心の向上を図り、地域活性化へ繋げました。 実施：5月20日(土) 参加者：46,000人 会場：県立三ツ池公園 内容：模擬店、ステージ発表、リサイクル関連イベント等</p> <p>2 つるみ臨海フェスティバル 臨海部に親しみ、愛着を深め、子どもから高齢者まで幅広い世代の誰もが気軽に参加できる場を創り、地域交流を推進しました。 実施：10月21日(土) 参加者：55,000人 会場：入船公園 内容：模擬店、ステージ発表、スポーツ体験等</p>	

事業番号 14 地域文化・区民活動推進事業	決算額
	予算 (2,982,000 円) 決算 (2,048,074 円) 差引 (933,926 円)
<p>区民に様々な文化活動の発表の場と、文化・芸術の鑑賞の機会を提供し、文化活動への関心を高め、地域文化の振興を図りました。 また、区民の地域での活動を促進するため、活動を始めるきっかけとなる講座や担い手を育成する事業を実施しました。</p> <p>1 地域文化推進事業 鶴見区民文化祭への補助金交付を通じて、区民の文化活動を発表する場と文化・芸術に触れられる機会をつくりました。 実施：9～12月 会場：鶴見公会堂、鶴見中央コミュニティハウス、鶴見区役所等 参加者：延4,374人 内容：郷土史展、作品展、音楽・踊り等</p> <p>2 つるみ区民活動センター事業 (1) 相談・コーディネート・機材貸出 相談件数：232件 貸出件数：316件 (2) 情報提供・ボランティア登録 ア つるみ区民活動センター情報紙「あぶりお」の発行</p>	

回数：年6回（隔月）

部数：延9,000部（1回1,500部）

イ 生涯学習ボランティア「鶴見人ネット」登録

登録数：115件

（3）講座・イベントの実施

新型コロナウイルス感染症の状況に応じ、オンライン会議システムを活用するなど、「新しい生活様式」に合致した講座・イベントを実施しました。

講座・イベント名	実施	参加者
生涯学習・社会教育推進講座 「つるみ MACHI 塾」	5回	延56人
生涯学習ボランティア紹介展 「鶴見人ネットフェスタ」	1回	15団体 (約50人) ※出演数
市民活動紹介展「鶴魅力」	1回	48団体 ※出展数
登録団体交流会	1回	48人

（4）区民利用施設間の連携強化

区民利用施設が連携・協力し、よりよい区民活動支援の体制づくりを進めていくため、施設スタッフ向け研修会を実施しました。

実施：2回 参加者：延39人

3 読書活動推進事業

区民の更なる読書活動推進を目指し、施設連絡会や読書講演会を開催しました。

（1）鶴見読書関連施設連絡会

図書館と図書コーナーを持つ区民利用施設が区民の読書活動に関する情報共有を行い、よりよい読書環境整備に向けた意見交換を実施しました。

実施：6月

参加施設：鶴見図書館、地区センター、コミュニティハウス、
つるみ区民活動センター

（2）つるみ読書講演会

講演テーマ：『源氏物語』の世界～平安貴族の文化と暮らし～

講師：田口 暢之 氏（鶴見大学文学部日本文学科准教授）

実施：12月

会場：鶴見区役所

参加者：97人

4 一時託児推進事業

一時託児を担う保育協力者養成講座を開催しました。

受講者：9人。

■■ 関連する事業 ■■

【区配事業】横浜市民の読書活動推進事業（教育委員会事務局）

「第二次横浜市民読書活動推進計画」及び「第二次鶴見区読書活動推進目標」に基づき、読書関連施設間の情報交換や連携を深めるために「鶴見区読書関連施設連絡会」の取組を実施しました。

事業番号 15 区民スポーツ振興事業	決 算 額
	予算 (550,000 円)
	決算 (550,000 円)
区民が身近にスポーツを楽しめる環境をつくり、健康増進や地域交流の活性化につながるよう、区民スポーツ大会の実施などスポーツの普及・振興を進めるため、鶴見区スポーツ協会の活動支援を行いました。また、トップスポーツチームとの連携を進めることで、区民がスポーツに触れる機会を更に創出しました。	
<ul style="list-style-type: none"> ・区民スポーツ大会等の開催(年間):61 大会 参加者:延 15,064 人 ・トップスポーツチームと連携した「鶴見区民デー」の開催 連携先：横浜エクセレンス 実施：1 月 会場：横浜武道館 実施概要：GREEN×EXPO 機運醸成のためのブース出展のほか、鶴見大学附属中高によるダンス演技や沖縄関連の物産品販売など、鶴見区の特徴を踏まえた企画を実施しました。 来場者数：3,472 名（2 日間計） 	

3 子どもから大人まで安心・元気に

事業番号 16 ヘルスアッププラン	決算額
	予算 (1,926,000 円) 決算 (1,570,329 円) 差引 (355,671 円)
<p>区民の平均自立期間（日常生活に介護を要しない期間の平均）を延ばすため、健康に関する講座や啓発等を実施しました。</p> <p>日常生活のなかで誰もが気軽に取り組める健康づくり活動を推進するため、鶴見区のウォーキングマップを作成しました。</p> <p>1 生活習慣病予防</p> <p>(1) あらゆる世代への健康啓発</p> <p>地域での講座やイベント、区民利用施設等で生活習慣病や健診・がん検診等について啓発を行いました。</p> <p>実施：通年</p> <p>会場：区民利用施設、町内会館等</p> <p>対象者：がん検診、特定検診受診対象年齢の区民</p> <p>(2) 運動普及啓発</p> <p>区民が日常的に無理なく運動を取り入れられるように、媒体を活用しての啓発を行いました。</p> <p>2 ComeCome（噛む噛む）元気大作戦！（歯科保健事業）</p> <p>(1) 親子わくわく歯っぴい講座</p> <p>歯が生え始めた児とその保護者を対象にむし歯予防や歯磨き方法についての講座を実施しました。</p> <p>また、保護者を対象に歯周病やオーラルフレイルについて啓発を行いました。</p> <p>実施：年12回</p> <p>会場：区役所</p> <p>参加者：192人</p> <p>対象者：6か月から13か月未満の乳幼児と保護者</p> <p>(2) 歯周病・オーラルフレイル予防等啓発</p> <p>6月の「歯と口の健康週間」や10月の健康づくり月間、両親教室（月1回）の機会に歯周病やオーラルフレイル予防の啓発を行いました。</p> <p>リーフレット配付数：1,683部</p> <p>3 食育事業</p> <p>(1) 食育イベントおよび食育研修会</p> <p>6月の「食育月間」や10月の「健康づくり月間」等で、食育に関する啓発を行いました。また、食育に携わる関係者を対象とした研修会を特定給食施設栄養管理研修会と合同で年1回実施しました。</p>	

食育研修会

実 施：3月

会 場：区役所

参加者：22人

(2) 幼児の食育講座

幼児期からの適切な食習慣の定着、基礎づくりを目指した講座を行いました。

実 施：年6回

参加者：55組

対象者：1歳6か月児～2歳児と保護者

(3) 食育ミニ講座

3歳児健診会場で、子どもや保護者が食について学ぶミニ講座をボランティアが実施しました。

実 施：年36回

参加者：延1,951組

対象者：3歳児と保護者

(4) 離乳食教室

健康福祉局予算で実施する離乳食教室について、定員を大きく上回る参加ニーズに対応するため、開催回数を増やし実施しました。

実 施：年24回 ※うち12回は区配（局予算）

参加者：143組（24回の合計）

対象者：7～9か月児と保護者

4 鶴見区健康づくり推進会議

区内の民間企業・関係団体と健康課題や健康づくりの取り組みを共有し、健康増進に向けた検討を行うため健康づくり推進会議を実施しました。

また、庁内各課や関係機関と連携して、鶴見区内のウォーキングマップを作成し、日常生活の中で楽しみながら健康づくりができる仕組みづくりを進めました。

実 施：庁内連絡会（5月、10月）

臨海フェスティバル出展（10月）

健康づくり推進会議（12月）

ウォーキングマップ作成（11月）【新規】

対 象：区内の民間企業、関係団体等

<臨海フェスティバル>

実 施：10月21日（土）

内 容：ウォーキングアンケート、三師会健康相談

ヘルスメイト朝食シールアンケート

参加者：ウォーキングアンケート 134人

事業番号 17 感染症対策事業	決算額
	予算 (719,000 円)
	決算 (659,156 円) 差引 (59,844 円)
<p>区内施設や区民が、適切に新型コロナウイルス感染症等の予防や拡大防止に取り組めるよう研修及び啓発を行いました。</p> <p>また新型インフルエンザ等発生に備え、区職員を対象とした研修や他機関との連携強化を図りました。</p> <p>1 区内施設向け啓発 新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ、ノロウイルス等の感染症の知識や発生時の対応方法について、保育所、幼稚園、高齢者・障害者施設などの関連施設に情報提供しました。 新型コロナウイルス感染症、ノロウイルス等リーフレット送付 10月 439施設</p> <p>2 感染症対策指導者養成研修 新型コロナウイルス感染症や感染性胃腸炎等の患者発生時の初期対応を中心に、施設の施設管理者や従事者を対象とした研修を行いました。 実施：9月（高齢者等関連施設）・10月（こども関連施設）（2回） 参加者：9月 28施設 10月 29施設</p> <p>3 区職員向け研修・訓練 新型インフルエンザや新興感染症・輸入感染症の発生に備え、職員が適切に対応できるよう研修と訓練を実施しました。 実施：10月 会場：区役所 参加者：25人</p> <p>4 臨海3区連絡会 近隣自治体（川崎市川崎区、東京都大田区、鶴見区）と感染症連絡会を開催し、感染症対応に関する連携強化を図りました。 実施：11月 会場：川崎区役所</p>	

事業番号 18 鶴見区障害児・者暮らしいきいき事業	決 算 額
	予算 (475,000 円) 決算 (421,532 円) 差引 (53,468 円)
<p>障害児・者及びその家族が地域の中でいきいきと生活できる環境づくりを進め、当事者、関係者、地域の人々が障害について理解し、行動できる仕組みづくりを進めました。</p>	
<p>1 鶴見区地域自立支援協議会の推進</p> <p>障害児・者が地域で生活していくことを支援する関係機関等が情報・課題の共有、支援の向上を図るための協議会を開催しました。また、協議会を活用して、関係機関職員等の質の向上に資するための研修を実施しました。</p> <p>< 構 成 員 > (令和6年3月末)</p> <p>基幹相談支援センター、地域活動ホーム、精神障害者生活支援センター、地域活動支援センター、障害福祉サービス事業所、支援学校、地域ケアプラザ等 142 機関。</p> <p>(1) 会議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 代表者会議 実施：6月 (年1回) ・ 担当者会議 実施：6月、9月、11月、1月 (年4回) <p>このほか、専門部会3部会(相談・権利擁護・精神保健福祉)を16回開催、また、3連絡会(障害児関係機関、グループホーム、医ケア児/重心)の連絡会議を10回開催しました。</p> <p>(2) 研修</p> <p>関係機関職員等の知識・技術の向上やネットワークの構築を図り、業務やケース支援等に生かしていくための研修を実施しました。</p> <p>実 施：10月、11月、12月(2回)、2月(2回)、3月(年7回)</p> <p>2 障害理解の推進</p> <p>地域のボッチャ大会への参加や障害者週間に合わせたイベントの実施、福祉施設の自主製品等のPR、販売支援等を行い、区民の障害理解や意識啓発に結びました。</p> <p>(1) 地域のボッチャ大会への参加</p> <p>スポーツ推進委員連絡協議会主催のボッチャ大会参加を通じた地域との交流を図りました。</p> <p>実 施：6月18日(日)</p> <p>場 所：鶴見スポーツセンター</p> <p>参加人数：104人(24チームのうち障害のある方のチームは2チーム参加)</p> <p>(2) 障害者週間イベント</p> <p>施設等紹介パネルの展示や福祉施設の自主製品の販売等、啓発活動を行いました。</p> <p>実 施：12月(障害者週間に合わせて実施)</p> <p>会 場：区役所1階ロビー等</p> <p>3 専門職のスキルアップ研修の実施</p> <p>社会福祉や保健師等の専門職向けに、困難事例等に対応する上で必要な知識・技術を向上させるための研修を実施しました。</p> <p>実 施：7月～2月(年7回) 参加者：延119人</p>	

■■ 関連する事業 ■■

【区配事業】自殺対策事業（健康福祉局）

横浜市自殺対策計画に基づき、「誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現」を目指し、「ゲートキーパー」の育成や普及啓発の推進に取り組みました。

- ・区職員等向けゲートキーパー研修の実施（4月）
- ・自殺対策強化月間（9月、3月）において啓発動画放映の実施
- ・相談支援機関等の職員を対象とした自殺に関する研修の実施

事業番号 19

鶴見区高齢者はつつ生活応援事業

決算額

予算（1,268,000円）

決算（1,030,602円）

差引（237,398円）

高齢者がいつまでも生き生きとした生活ができるよう、認知症対策や介護予防について啓発事業を行います。

1 認知症普及啓発事業

認知症の当事者を家族で介護する方々が地域で安心して介護し、生活することができるよう、地域の「気づき・見守り」といった支援力をより一層高めるための講演会を実施しました。

実施：10月26日（木）

会場：鶴見公会堂

講師：群馬大学名誉教授、医師 山口 晴保 氏

参加人数：208人

対象者：地域における認知症の方やその家族の支援者、包括職員、民生委員、キャラバンメイト、認知症サポーター、その他（自治会町内会の方々など）

2 介護予防事業【拡充】

（1）鶴見区フレイル予防の動画作成・デジタルサイネージ放映

フレイル予防の重要性を幅広い世代に啓発するため、フレイル予防動画を作成し、区庁舎や医療機関のデジタルサイネージ等で放映するとともに、鶴見区内のバス路線で2月から3月にかけて放映しました。

（2）オーラルフレイル予防の普及啓発事業

70歳の高齢者に横浜市歯周病検診（無料）の受診勧奨とオーラルフレイル予防に関する情報を個別通知しました。また、鶴見区歯科医師会と連携し、検診受診者に対し歯科医師等よりオーラルフレイルに関する個別指導を実施しました。

送付：6月 発送数：2,876人、令和5年度の受診者：166人、受診率：5.9%

■■ 関連する事業 ■■

【区配事業】認知症支援事業（健康福祉局）

認知症になっても本人の意思が尊重され、その人らしく暮らし続けられるように、医療との連携、介護サービスの適切な提供を推進するとともに、地域の見守りやサービス等を含めた切れ目のない支援体制の構築を目指しました。

- ・認知症高齢者等SOSネットワーク
- ・認知症初期集中支援チーム
- ・認知症に関する普及啓発（認知症サポーター養成講座開催への支援、キャラバン・メイトの育成等）

【区配事業】介護予防普及啓発事業（健康福祉局）

住民主体の通いの場を充実させ、人と人とのつながりを通じて、参加者や通いの場が継続的に拡大していくような地域づくりを推進し、要介護状態になっても生きがい・役割を持って生活できる事を目的に介護予防事業をすすめました。

- ・元気づくりステーション事業
- ・地域リハビリテーション活動支援事業
- ・介護予防普及啓発事業（口腔機能向上、ロコモ予防、ひざ痛体操指導者研修等）

【区配事業】地域包括ケアの推進（健康福祉局）

横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた鶴見区アクションプランに基づき、鶴見区の地域包括ケアシステムを推進しました。

事業番号 20

つるみDE子育て応援事業【重点】

決算額

予算 (5,332,000 円)

決算 (6,042,364 円)

差引 (△710,364 円)

妊娠中から継続した関わりで、家庭・地域の育児力をアップし、地域の子育て支援の充実と、安心して子育てができる環境を整えます。

1 地域育児教室（赤ちゃん会）

原則第1子の0歳児と保護者を対象に月1回程度開催しました。

実施：1会場あたり10回程度（年205回）

会場：地区センター、地域ケアプラザ等21か所

2 親子の居場所普及事業

親子が気軽に立ち寄れる、親子の居場所「ふらっとる一む」に対し、のぼり旗等の配布を通じて運営を支援しました。

親子の居場所「ふらっとる一む」数：49か所

3 多言語窓口子育て支援事業

多言語に翻訳した子育て関係のチラシや申請書類等を活用して、窓口の区民サービス向上を図りました。

- 4 学校・地域連携促進事業（旧区長表彰事業）
学校と地域の連携を促進する学校の活動に対して区長の感謝状を贈呈しました。
6校
- 5 子育て情報普及啓発事業【拡充】
地域の子育てに関する情報のきめ細かな提供のため、地域子育て支援拠点のホームページを改訂し、子育て情報を整理・集約しました。さらに、養育者が当該コンテンツへアクセスしやすいように、名刺サイズのカードにホームページを二次元コードとして印字し配布しました。
また、子育てに関する情報誌「つるみ区子育て応援ガイドブック」を発行しました。
部数：8,000部
- 6 弁護士相談事業【新規】
増加する外国籍居住者への迅速・適切な支援を行うため、外国籍であることによる法的な課題に対し、職員が弁護士へ相談できる体制を整備しました。

■■ 関連する事業 ■■

【局事業】乳幼児一時預かり事業（こども青少年局）

養育者のリフレッシュを主な目的に乳幼児を預かりました。区内には「まめっこひろば」「実遊保育園つるみ一時保育室」があります。

【局事業】親と子のつどいの広場（こども青少年局）

育児にかかわる心身の負担軽減等を図るため、親子の交流や集いの場の提供、情報提供、一時預かりを行う事業です。区内には「はなはなひろば」「キッチン」「こま一ま」「Coron」があります。

【局事業】産前産後ヘルパー派遣事業（こども青少年局）

妊娠期または産褥期（5か月未満）にあつて、日中に家事育児の支援を受けられない方にヘルパーを派遣し、育児不安や心身の不調による家事育児負担の軽減を図りました。

【区配事業】地域子育て支援拠点事業（こども青少年局）

未就学児の親子を対象に、遊びや交流スペースの提供、子育て相談、子育て情報の提供等を行う拠点として「わっくんひろば」「わっくんひろばサテライト」を設置しています。

【区配事業】横浜子育てサポートシステム（こども青少年局）

子どもを預かってほしい人と預かれる人が会員登録をして預かりなどの子育てニーズに対応する事業です。鶴見区では子育て支援拠点「わっくんひろば」が事務局を担っています。

事業番号 21 つるみの未来を育てる保育所事業	決 算 額
	予算 (3,811,000 円)
	決算 (4,197,155 円)
差引 (△386,155 円)	

区内保育施設等職員に対して保育の質向上を図るための研修や園庭開放など市立保育所資源を活用した子育て支援を実施します。

また、引き続き、保育・教育コンシェルジュによる個別相談を実施するとともに、新たに外国籍子育て世帯に向けた保育所等一覧・マップの多言語版の作成など、きめ細やかな入所支援を行います。

1 保育所多文化共生事業

市立保育所が中心となって、区内の保育施設等と一緒に多文化共生研修を実施しました。この取組により、保育施設等職員や園児の外国文化の理解へ繋がりました。

2 保育所資源活用事業

(1) 市立保育所園庭開放

市立保育所の園庭を地域の親子に開放しました。また有償ボランティアを配置し、育児相談等に対応することで市立保育所を活用した育児支援を充実しました。

会 場：市立保育所4園

対象者：地域の子育て中の親子

(2) 図書を活用した地域子育て支援事業

市立保育所を会場にして、子育て中の親子向けに絵本の読み聞かせなどのイベントを行うことや、絵本等の貸出を行うことで育児支援や読書の機会の増大に繋がりました。

会 場：市立保育所4園

対象者：地域の子育て中の親子

3 保育所入所支援事業

認可保育所、地域型保育事業及び認定こども園の定員、保育時間及びその位置を周知するため、鶴見区の保育所等一覧・マップ等を発行しました。

また、新たに保育所等マップの多言語版を作成するほか、保育所入所申請等の手続きをオンラインでわかりやすくご案内するツールを新たに導入しました。

<保育所一覧等の発行>

実 施：10月、3月

部 数：20,000部

対応言語：英語、中国語、ベトナム語等

■■ 関連する事業 ■■

【区配事業】市立保育所を活用した保育資源ネットワーク構築事業（こども青少年局）

市立保育所を中心に認可保育所などの保育資源とともに地域子育て支援イベントや交流会を実施しました。また、保育の質向上研修を行いました。

事業番号 22 鶴見区虐待予防事業	決 算 額
	予算 (3,073,000 円)
	決算 (2,694,170 円)
	差引 (378,830 円)

子育てに関する負担を軽減し、児童虐待やDV（ドメスティックバイオレンス）の予防を目指します。

1 親支援講座

子どもとのコミュニケーション学習を目的とした支援者向け研修会を開催しました。

(1) 支援者向け研修会（講座編）

実 施：年1回

対 象：育児支援関係施設職員等

内 容：おやこの健全育成を目的とした外遊びの意義と効果

(2) 支援者向け研修会（実技編）

実 施：年1回

対 象：育児支援関係施設職員等

内 容：公園を使つての外遊び講座

2 専門家相談【拡充】

子育て中の親の不安を軽減するため、専門家による相談を行いました。

- ・臨床心理士による子育て中の親の相談（年32回）
- ・弁護士による相談（年8回）
- ・精神科医師による精神疾患に関する相談（年12回）
- ・学識経験者による児童虐待に関する相談（年10回）

3 虐待予防中学校等出張講座

中学校を対象とした講座を行いました。また、思春期の教育に関わる生徒指導専任教諭・養護教諭等を対象に研修会を実施しました。

- ・中学生対象

性感染症 妊娠から出産 赤ちゃんを育てること

- ・生徒指導専任教諭・養護教諭等対象

思春期に関する研修会

- ・実施学校数 : 5校

- ・受講者数 : 1,305人

4 虐待緊急対応

緊急性の高い虐待通報へ迅速な対応を行いました。

■■ 関連する事業 ■■

【区配事業】児童虐待予防啓発地域連携事業（こども青少年局）

児童虐待防止の地域への啓発を行うと共に、関係機関への研修や職員を対象にした専門研修を行い、虐待対応のスキルアップを図りました。

【局事業】産後母子ケア事業（こども青少年局）

助産所等が、デイケア及びショートステイを行い ①お母さんのケア ②赤ちゃんのケア ③その他指導相談等を行う、養育支援を目的にした事業です。市内15か所の助産所等で実施しました。

事業番号 23

生活衛生サポート事業

決算額

予算 (673,000 円)

決算 (604,086 円)

差引 (68,914 円)

食品・環境衛生に関する最新の情報提供・啓発や、犬猫の適正飼育啓発やねずみ駆除の支援などを行い、区民が安全・安心に快適な生活が送れるようサポートします。

1 食品衛生関係事業

(1) ノロウイルスによる食中毒の予防

高齢者施設、病院など重点対象施設への立入指導や、食品提供を行うボランティアへの出前講座などを行いました。

ア 鶴見区食事サービス連絡会衛生講習会

実施：7月

会場：鶴見区福祉保健活動センター

参加者：15人

イ 学童関係講習会関係

実施：7月

会場：学童施設

参加者：25人

(2) アニサキスや食肉を原因とした食中毒の発生防止

食品関係営業施設への立入指導、講習会やSNSなどによる啓発を行いました。

2 環境衛生関係事業

ねずみ及び衛生害虫などによる健康被害防止啓発や、駆除相談、駆除機材の貸出などを行いました。

3 人と動物の共生推進事業

(1) 犬猫の適正飼育の啓発

ア 適正飼育講習会の開催

実施：8月、10月、1月

イ 地域防災拠点訓練等での災害時ペット対策の啓発

ペット飼育場所開設キットを全地域防災拠点（31拠点）に配布：6月

(2) 飼い主のいない猫対策事業

超音波式ねこ被害軽減機の貸し出しや、地域が取り組む飼い主のいない猫対策への支援を行いました。

事業番号 24 青少年健全育成事業	決 算 額
	予算 (1,195,000 円)
	決算 (794,111 円)
差引 (400,889 円)	

青少年の健全育成を図る団体を支援し、健全育成を推進します。また、地域社会において青少年が健やかに成長する空間の創出を目指し、地域の輪を広げる取組を実施しました。

1 青少年交流活動推進事業

(1) 鶴見区子どもサマーキャンプ事業

小学生の自然体験活動の機会の充実と異年齢交流の促進のため、主催の鶴見区子ども育成会連絡協議会に対し補助金を交付しました。また、本事業を通じて、中高生からなる鶴見区ジュニアリーダーズクラブの育成を支援しました。

交付団体数：1 団体

実 施：7 月、1 泊 2 日

参加人数：61 名（運営側も含む）

(2) 青少年育成サイエンス交流事業

横浜サイエンスフロンティア高等学校及び区内企業と連携し、青少年の科学への興味関心を高め、想像力や探究心を育むとともに、小学生と高校生との異年齢間交流により、ともに育ち合う機会を創りました。

実 施：8 月

参加人数：26 名（小学生）、8 名（中高生）

連携企業：森永製菓株式会社(協力)

テーマ：「チョコレートで科学する～おいしさのひみつ～」

(3) 区内企業との公民連携による青少年育成

区内各企業及び学校との公民連携により、サッカー教室や工場見学、ものづくりに関する教室を開催することで、青少年が様々な社会体験をする機会を提供し、社会全体で子どもの成長を支えること、子どもの内在する力を引き出すことにつなげました。

①鶴見区・神奈川区の工場で『モノづくり』を親子で学ぼう！

実施：7 月

参加人数：13 人

連携企業：日産自動車株式会社横浜工場、キリンビール株式会社横浜工場（主催）

2 青少年の居場所運営支援事業

地域・団体等による青少年の居場所運営の取組に対し、補助金を交付しました。

交付事業数：4 事業

■■ 関連する事業 ■■

【局事業】よこはま東部ユースプラザの運営補助（こども青少年局）

地域において不登校やひきこもり状態などにある青少年（15 歳～39 歳）の自立を支援する「地域ユースプラザ」の運営費を補助しました。

【局事業】 ひきこもり等の困難を抱える若者の専門相談 （こども青少年局）

青少年相談センター所管の補助事業として、鶴見区では東部ユースプラザの地域連携相談員が、毎月2回（第2・第4の水曜日午後）、区役所で相談支援を行いました。

支援対象者は横浜市在住で、ひきこもり等の困難を抱える若者15歳から39歳の方とその家族です。

【区配事業】 寄り添い型生活支援事業 （こども青少年局）

◇つるみ元気塾

生活困窮や養育困難等の課題を複合的に抱えた世帯の小中学生に対して、自信・達成感・肯定感をもたせ、円滑な学校生活を送るための支援・生活体験・総合的な支援を行う支援施設「つるみ元気塾」を運営し、必要な支援等を行いました。

【区配事業】 寄り添い型学習支援事業 （健康福祉局）

◇つるみ未来塾（中学生対象）

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題がある子どもたちの将来の自立に向けた基盤づくりのため、中学1～3年生を対象に高等学校等への進学に向けた学習支援を行いました。

◇つるみプラス（高校生世代対象）

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題がある高校生の中途退学防止のための居場所づくり事業を行いました。また、高校生世代（概ね15歳から18歳）の子どもを対象に、社会生活に必要な情報や体験の機会を提供する事業を行いました。

事業番号 25 鶴見区環境行動推進事業	決算額
	予算 (2,000,000 円) 決算 (1,786,769 円) 差引 (213,231 円)
地域、事業者、区民活動団体との連携を一層強め、環境行動の啓発活動を推進します。	
1 環境行動PR事業	
(1) 環境行動の普及啓発	
環境行動に興味をもってもらい、実際に実践するためのきっかけづくりを目的に、事業者等と連携したSDGsに関連する企画や、広報よこはまを活用した区内企業の脱炭素に係る取組のPR等を実施しました。	
◆取組状況	
【つるみ・ちゅうみ サマースクール】の開催	
横浜市内・沖縄県内の企業や港湾局等と連携して「つるみ・ちゅうみ サマースクール」を開催しました。沖縄美ら海水族館の大水槽を体感できる3D映像の上映やワークショップ、鶴見小学校の取組発表、啓発パネルの展示、スカイウォークでの特別講座等、区内複数会場において、多数の来場者に海洋環境保護の取組についてPRを行いました。	
実 施：7～8月	

場 所：鶴見区民文化センターサルビアホール、LICOPA 鶴見、鶴見図書館、横浜
ベイブリッジスカイウォーク

参加者：約 1,800 名

(2) 企業等と連携した区内小中学校向け出張授業・工場見学

民間企業等が実施する環境や社会をテーマとした出張授業・工場見学の内容を「鶴見区 企業の出張授業と工場見学の手引き」として取りまとめ、区内の小中学校に周知し、授業での活用を促しました。

参加者：約 3,600 名

(3) 鶴見区地球温暖化対策・3R 夢推進会議

実 施：6 月

2 緑のカーテン事業

緑化や省エネ化の促進のため、引き続き、区庁舎及び土木事務所の緑のカーテン、並びに区庁舎の壁面緑化を実施しました。

(1) 緑のカーテン

場 所：区庁舎 2 階警察署側窓（戸籍課前）（8 月～11 月）

土木事務所 1 階（5 月～9 月）

(2) 壁面緑化

場 所：区庁舎 1 階警察署側壁面

3 区民利用施設照明設備 LED 化事業【新規】

区民利用施設の照明設備を LED 化することにより、温室効果ガス排出量を削減し、地球温暖化対策に取り組みました。

事業番号 26

つるみクリーンタウン事業

決 算 額

予算 (3,412,000 円)

決算 (3,498,096 円)

差引 (△86,096 円)

3R 行動、特にプラスチック対策や食品ロス削減等を通じて脱炭素化を推進するため、普及・啓発活動を区民と共に推進しました。

1 ヨコハマ 3R 夢推進事業

食品ロスやプラスチックごみの削減、ごみの分別について普及、啓発を進めました。

(1) 区民向けイベントでの 3R 啓発

ア 三ツ池公園フェスティバル(5 月 20 日)

イ つるみ臨海フェスティバル(10 月 21 日)

ウ つるみ 3R 夢フェスタ (7 月 29 日)

エ 商業施設での啓発 (6 月 10 日、3 月 2 日) ほか

(2) 食品ロス削減に向けた普及啓発活動

区役所常設の食品回収箱をはじめ、フードドライブ活動を実施・支援しました。

(3) 保育園等での環境学習

子どもたちの意識を高めるため、出前講座を行いました。

実施：小学校 4 校、保育園・幼稚園 25 園、中学校・高校 1 校

(4) 生ごみ堆肥化の普及啓発

生ごみを活用した土づくり（土壌混合法）の普及に向けて、公共施設や保育園等での出前講習を行いました。

実施：小学校1校、区民向け講座（3回）

(5) 外国人区民の方々に向けた分別啓発

外国人区民の方々が多いことを踏まえ、イベントや留学生オリエンテーション等で分別啓発を行いました。

実施：外国人区民の方々への啓発（3回）

2 鶴見区クリーンアップ事業

地域清掃の支援、不法投棄防止に向けた啓発を実施しました。

(1) 鶴見クリーンキャンペーン

地域の各団体へごみ袋や軍手を配布し、清掃活動を支援しました。

実施回数：年2回

(2) まちかど花壇事業

不法投棄を防止するため、花苗を配布し、地域の花壇整備を支援しました。

実施：春・秋（年2回）

(3) 喫煙マナー啓発

ポイ捨てや歩きたばこを防止するため、マナー啓発を行いました。

実施：4月4日・6日、3月14日

(4) 道路ふれあい月間

鶴見駅周辺地域で、横浜市建設業協会鶴見区会と合同で、鶴見駅東西自由通路の清掃や鶴見駅周辺のごみ拾い、道路に関するPR活動を行いました。

実施：10月

参加者：40人

■■ 関連する事業 ■■

【局事業】 不法投棄防止対策事業（資源循環局）

不法投棄の多い場所において夜間監視パトロールを行いました。

4 区民サービスの向上

事業番号 27 鶴見区広報・広聴事業	決算額
	予算 (3,202,000 円) 決算 (2,993,284 円) 差引 (208,716 円)
<p>増加する高齢者や外国人住民、転入してくる子育て世代等様々な区民に対し、広報よこはま、区ウェブ、SNS等の媒体を活用し必要な情報をわかりやすく正確に発信するとともに、広く区内外に向け鶴見の魅力を発信することで、鶴見に対する愛着や信頼を高めました。</p> <p>また、区民ニーズや地域の課題を把握し、区政運営に反映させることを目的に、広聴事業を展開しました。</p> <p>1 広報・広聴事業</p> <p>(1) 区ウェブサイト等その他広報事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多言語対応の広報誌閲覧サービスアプリによる発信 ・SNS、区ウェブサイトによる区政情報の発信 ・鶴見区のマスコットキャラクター『ワックン』の活用による区のPR <p>(2) 広聴事業</p> <p>「市民の声」事業に基づき、区民や地域の意見を収集しました。</p> <p>広聴受付件数〔令和5年度：442通〕</p> <p>(3) 鶴見区シティプロモーション力向上に関する取組の実施</p> <p>区内各課の情報発信を充実させるための、「鶴見区シティプロモーション力向上に関する取組」を定め、庁内研修を実施しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ゼロからはじめる広報」研修 25名参加 ・政策局連携・デザイン研修「伝わるチラシの作り方」 <p>2 生活・防災マップ等発行事業</p> <p>(1) つるみ生活・防災マップ 〈事業番号1-1(6)(P.5)再掲〉</p> <p>発行：12月 部数：12,000部</p> <p>(2) 鶴見区バスマップ</p> <p>発行：3月 部数：9,000部</p>	

事業番号 28 発見つるみ！～データでみる鶴見区～	決算額
	予算 (438,000 円) 決算 (0 円) 差引 (438,000 円)
<p>鶴見区ウェブサイトにて、最新データを反映した「発見つるみ！～データでみる鶴見区～」をリニューアルして掲載しました。また、最新データを入手次第、順次内容を更新するため、冊子による発行を廃止し、紙面を希望される方にはウェブサイト画面を印刷して提供しました。</p>	

事業番号 29 鶴見区人材育成推進事業	決算額
	予算 (1,165,000 円) 決算 (1,280,681 円) 差引 (△115,681 円)
<p>全職員が鶴見区に対する愛着を持ち“チームつるみ”の一員としてより一層意欲・能力を発揮できるよう人材育成に取り組むとともに、区民一人ひとりが人権問題の重要性を認識しうるよう人権啓発に取り組みました。</p> <p>1 人材育成推進 人材育成や人権啓発、職員企画・提案型など様々な研修を通して、職員として必要なスキルの習得や意識改革を進めました。 (1) 人権啓発研修 (責任職グループ研修、職員向け研修) 6月～ (2) 職員企画・提案型研修 7月～ (3) 改革推進委員会 7月～</p> <p>2 人権啓発 区民一人ひとりが人権問題の重要性を認識し、人権感覚を磨く機会となるよう、市民向け人権啓発講演会を開催しました。 実施：12月 会場：鶴見公会堂 参加者：459人 (オンライン配信含む。)</p>	

事業番号 30 魅力ある区役所づくり事業	決算額
	予算 (15,206,000 円) 決算 (17,575,178 円) 差引 (△2,369,178 円)
<p>区民の多様なニーズに的確に対応できるよう、区役所環境の整備を図りました。</p> <p>1 魅力ある区役所づくり 区民が利用しやすい区役所の実現を目指し、夏季期間の冷風機設置による暑さ対策や、区庁舎2階つるみ区民活動センターにおける会議室の設置などを実施しました。</p> <p>2 一時託児サービス 乳幼児を伴って区役所を利用される方の利便性を向上するため、区役所1階の託児施設 (キッズランド) において、月・水・木曜日の8時50分から16時10分 (12時から13時までを除く) まで、託児サービスを実施しました。</p> <p>3 ICTの活用促進 区民サービスの向上や業務効率化を図るため、Web会議用システムの維持・管理や、Wifiの増設などのICT環境の整備を行いました。</p>	

道路局・みどり環境局・下水道河川局の主な局事業及び区配事業

①【局事業】踏切の安全対策 (道路局)

歩行者の安全な通行に課題のある踏切について順次、カラー舗装等の安全対策を実施しました。

②【局事業】末吉橋架替事業 (道路局)

令和4年度は、旧橋梁の上部工や橋台・橋脚の撤去工事を実施しました。令和5年度は、引き続き、撤去工事を行うとともに新橋梁の工事を進めました。

③【局事業】鶴見川人道橋整備事業 (道路局)

令和4年度は、左岸右岸ともに下部工工事に着手しました。令和5年度も、引き続き工事を実施し、令和7年春の供用開始を目標に事業を進めました。

④【局事業】北寺尾六丁目サムエル公園 (みどり環境局)

令和5年度は、実施設計および公園整備工事を行いました。(令和6年7月に全面オープン)

⑤【区配事業】公園施設改良事業 (みどり環境局)

矢向二ヶ領公園ほか9公園について、遊具やベンチなどの施設改良工事を実施しました。

⑥【局事業】下水道整備工事 (下水道河川局)

引き続き、状態監視保全により鶴見地区、及び末吉地区などで下水道の再整備工事を実施しました。

⑦【局事業】下水道耐震化工事 (下水道河川局)

地域防災拠点・応急復旧活動拠点・災害拠点病院等で下水道の耐震化工事を実施しました。

令和6年第3回

区づくり推進横浜市会議員会議

議 題 2

令和6年度 鶴見区個性ある区づくり推進費
自主企画事業費の執行状況について

議題2 目次

	ページ
1 地域力の強化	
1 防災活動推進事業【重点】	39
2 放置自転車対策事業	41
3 交通安全推進事業	42
4 鶴見区防犯活動支援事業	43
5 自治会町内会振興事業	44
6 つるみ・地域の課題解決事業	45
7 鶴見区新たなチャレンジ応援事業	45
8 鶴見・あいねっと推進事業	47
9 「広げよう見守りの輪」推進事業	48
2 区内経済・活力の向上	
10 「千客万来つるみ」プロモーション事業【重点】	49
11 多文化のまち・つるみ推進事業【重点】	49
12 商店街魅力発信事業	51
13 地域活性化支援事業	52
14 地域文化・区民活動推進事業	52
15 区民スポーツ振興事業	53
3 子どもから大人まで安心・元気に	
16 ヘルスアッププラン	55
17 感染症対策事業	56
18 鶴見区障害児・者暮らしいきいき事業	57
19 鶴見区高齢者はつらつ生活応援事業	59
20 つるみDE子育て応援事業【重点】	60
21 つるみの未来を育てる保育所事業	61
22 鶴見区虐待予防事業	62
23 生活衛生サポート事業	63
24 青少年健全育成事業	64
25 鶴見区環境行動推進事業【重点】	66
26 つるみクリーンタウン事業	67
《施策実現に向けた行政運営》	
27 鶴見区広報・広聴事業	68
28 鶴見区人材育成推進事業	69
29 魅力ある区役所づくり事業	69

令和6年度個性ある区づくり推進費自主企画事業費等執行状況

《 3つの重点施策 》

重点施策1 地域力の強化

事業番号 1 防災活動推進事業【重点】	予 算 額
	R 6 (14,854 千円) R 5 (14,700 千円) 差引 (154 千円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略8 災害に強い安全・安心な都市づくり 政策番号 35 地域で支える防災まちづくり
<p>地震、風水害及び都市災害等に備え、地域における自助・共助の取組推進や、地域防災拠点及び区本部機能の強化・維持について、関係機関等と連携を図りながら、地域防災力の向上を図ります。</p> <p>1 自助・共助推進事業</p> <p>地域の防災イベント・研修会等の機会を捉えた防災啓発を実施するほか、地域における共助のための自主的な取組に対して補助金を交付します。</p> <p>(1) 防災講座による啓発活動【拡充】</p> <p>自治会町内会や学校、関係機関等と連携し、様々な区民の方によりきめ細やかな防災講座を行うことで、地域全体の防災意識を高め、発災時のリスク低減を促進します。</p> <p>ア 出前防災講座</p> <p>自治会町内会館や防災訓練会場等において、地区ごとの災害リスクや、個人・地域が行える被害軽減に向けた取組等に関する出前講座を行います(延30回程度)。</p> <p>イ 小学校高学年向け防災講座(つるみっこ防災塾)</p> <p>若年層の防災意識の向上のため、わかりやすい動画の活用やまち歩きなどをしながら、小学校の授業として防災講座を行います(4校程度)。</p> <p>ウ 妊産婦等への防災講座</p> <p>一般的な防災講座に加えて、専門家によるアドバイスを受けながら、妊産婦や未就学児のいる家庭に必要な備蓄などに関する講座を行います(月1回程度)。</p> <p>エ 外国人向け防災啓発</p> <p>国際交流ラウンジと連携しながら、多言語対応のつるみ生活・防災マップなどを活用し、外国人向けの防災講座を行います。</p> <p>オ 鶴見川防災情報講座</p> <p>鶴見川の水害に備えた自助・共助の取組を強化するため、国土交通省京浜河川事務所と連携し、鶴見川沿いの連合町内会に鶴見川防災情報講座を実施します(3回)。</p> <p>(2) 「まるごとまちごとハザードマップ」における啓発活動</p> <p>地域ごとの浸水リスクや避難場所をひと目で認識できるよう、電柱等に掲示した「まるごとまちごとハザードマップ」について、より見やすい標示に見直して更新を行います。</p>	

(3) 地域防災拠点の運営力強化

地域防災の要である地域防災拠点について、資機材の点検・修繕を行うとともに、拠点の開設運営訓練を支援します。また、拠点を担当する責任職（防災参与）等の研修を行います。

ア 地域防災拠点参与研修：5月

イ 地域防災拠点運営委員会連絡協議会：5月

ウ 全地域防災拠点での開設運営訓練：8～2月（31拠点）

(4) 共助のための防災活動支援事業

地域防災力向上を目的として、共助のための自主的な活動に対し、補助金による支援を行います。

(5) 鶴見川防災対策事業

鶴見区水防協議会の資機材購入支援や、鶴見川の防災機能整備促進・強化に向けた国への働きかけを行います。

(6) つるみ生活・防災マップ【拡充】

つるみ生活・防災マップの時点修正を行い、転入された方等への窓口配布や区ホームページへの掲載を行います。

また、多言語版については、外国人の方により分かりやすい内容に更新し、国際交流ラウンジ等の情報発信拠点で配布します。

発行：12月

部数：17,000部

2 区本部機能等強化事業

実災害に対応するための区本部機能の強化を図ります。

(1) 災害対応力及び区本部機能の強化

ア 災害対策本部設置運営訓練及び職員研修の実施

区本部訓練：9、1月

職員研修：7月～8月（全6回、全職員を対象に実施）

イ 災害対応に必要な区本部用資機材の購入

(2) 災害ボランティアネットワークへの活動支援

日常的な訓練や啓発活動、また、発災時に災害ボランティアセンターの運営が円滑に行われるよう支援を行います。

3 災害時医療体制推進事業

迅速かつ適切な応急対応措置を講じるため、平時から関係機関・団体の連携・協力体制を構築します。

(1) 区内医療機関等との通信訓練

区役所（医療調整班本部）と区内医療機関、市医療局との間で、MCA無線及び衛星携帯電話による通信訓練を実施します。

実施：毎月（奇数月：区→区内医療機関等、偶数月：区→市医療局）

※MCA無線：運輸・物流業務、バス運行業務、タクシー等で広く利用されている資格不要のデジタル簡易無線。

(2) 鶴見区災害医療連絡会議

行政と関係機関・団体の情報共有や意見交換を図ります。

開催：年2、3回程度

構成員：鶴見区医師会、鶴見区歯科医師会、鶴見薬剤師会、済生会横浜市東部病院、汐田総合病院、佐々木病院、平和病院、鶴見大学、鶴見警察署、鶴見消防署、鶴見区社会福祉協議会、鶴見区役所

(3) 鶴見区災害医療訓練

鶴見区災害医療連絡会議の関係団体と災害医療訓練を実施します。

内容：①医療機関連携訓練：医療機関との通信訓練及び医療救護隊参集訓練
②のぼり旗掲出訓練：9、1、3月

会場：済生会横浜市東部病院、医療救護隊参集拠点（鶴見区休日急患診療所）、鶴見区役所 など

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】地域の防災力を向上させる防災啓発事業（総務局）

若年層における防災意識向上を図るため小学校と連携し、防災を学ぶ授業の一環として、横浜市民防災センターの見学会等を実施します。

【再配当事業】横浜市地域防災活動支援事業（総務局）

地域防災拠点運営委員会の自主的な活動を奨励し、地域防災拠点の運営を円滑に行えるよう、助成金を交付します。

【再配当事業】町の防災組織活動支援事業（総務局）

災害による被害の予防・軽減のため、自治会町内会や共同住宅の管理組合を単位として自主防災活動を行う「町の防災組織」を支援するため補助金を交付します。

【統合事業】緊急時情報システム運用事業

災害等に関する緊急情報を、電話を利用して区から直接、地域の防災組織の長（自治会町内会長）等に対して発信し、あわせて双方向機能を活用して受信状況を確認するシステムを運用します。

事業番号 2 放置自転車対策事業		予算額
		R 6 (4,691 千円) R 5 (4,707 千円) 差引 (△16 千円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略5 新たな価値を創造し続ける郊外部のまちづくり 政策番号 28 日常生活を支える地域交通の実現	
駅周辺において、安全で安心なまちづくりができるように、自転車等放置防止推進協議会の円滑な活動を支援するとともに、放置台数の多い箇所を中心に放置自転車対策を継続して行います。		

- 1 放置禁止区域内重点対策
 放置禁止区域のうち特に放置自転車の多いJR鶴見駅・京急鶴見駅を中心に、駐輪場の利用促進や放置禁止の呼びかけを行う監視員を配置（夕方から夜間）するとともに、撤去・移動事業を行う道路局と連携して放置防止対策を実施します。
- 2 自転車等放置防止推進協議会への支援
 各駅協議会の啓発活動を支援します。
 対象：6駅（JR鶴見駅・京急鶴見駅・生麦駅・鶴見市場駅・矢向駅・尻手駅）
 補助金交付：6月

■■ 関連する事業 ■■

【局事業】放置自転車等移動・撤去業務（道路局）

JR鶴見駅・京急鶴見駅周辺を重点とし、区内6駅周辺の自転車等放置禁止区域内に放置されている自転車等の移動・撤去を行います。

【局事業】自転車等放置防止監視員業務委託（昼間）（道路局）

放置及び移動台数の多い、JR鶴見駅・京急鶴見駅周辺を中心に、自転車等放置禁止区域内の自転車利用者に対して指導を行います。

事業番号 3 交通安全推進事業	予 算 額
	R 6 (2,069 千円) R 5 (2,069 千円) 差引 (0 千円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略5 新たな価値を創造し続ける郊外部のまちづくり 政策番号 28 日常生活を支える地域交通の実現
<p>安全で安心なまちづくりに向け、交通安全の普及啓発活動を推進するとともに、交通事故防止の対策を進めます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 交通安全啓発事業 <ol style="list-style-type: none"> (1) 交通安全運動 各季全国安全事業や、小学校・保育園の新入学・入園、自転車マナーアップなどの強化月間などの機会にあわせて、交通安全運動を実施します。 (2) 区交通安全対策協議会の運営 ア 幹事会・区自治連合会交通部連絡協議会、総会の実施 イ 交通安全功労者表彰 区内における交通安全と事故防止及び啓発に貢献した人・団体を表彰します。 (3) 交通安全講習会・啓発活動 区内小学校などで、はまっ子交通安全教室やチリリンスクール（自転車乗り方教室）を実施します。また、企業・団体、自治会町内会などに向け、自転車事故防止のための安全講習などを行います。併せて、自治会町内会や警察署、企業等と連携し、イベントなどの機会を活用した啓発活動を実施します。 (4) 新入学児童向けランドセルカバーの配布 鶴見交通安全協会と協力して、鶴見区マスコットキャラクター“ワックン”のイラスト入りランドセルカバーを製作し、新入学児童に配布します。 	

2 学校への支援

区内小学校 22 校に設置しているスクールゾーン対策協議会を支援します。

また、通学路の安全を確保するために、土木事務所、警察署と協議・連携しながら、通学路の点検を実施し、路面表示等の新設・補修・撤去を行います。

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】 スケアードストレイト※方式による交通安全教室の実施委託（道路局）

スタントマンが事故の再現を行い、自転車利用時のマナー向上を図る交通安全教室を実施委託します。

※スケアードストレイト：交通事故を再現することで、事故につながる危険行為を未然に防ぐ教育

事業番号 4 鶴見区防犯活動支援事業		予 算 額
		R 6 (2,080 千円) R 5 (2,080 千円) 差引 (0 千円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号9 地域コミュニティの活性化	
地域防犯力の向上のため、区民の防犯意識を高めるとともに、地域の自主防犯活動を支援します。		
1 防犯啓発活動		
(1) 地域防犯リーダー研修会 自治会町内会の防犯部等を対象に地域の防犯リーダーの研修会を開催します。		
(2) 犯罪発生情報の提供 メーリングリスト登録者(区民)向けに犯罪発生情報を提供します。		
(3) 振り込め詐欺の注意喚起 警察や関係機関と連携しながら、区民への注意喚起を実施します。		
2 子ども防犯活動支援事業		
(1) 保育園児に対する子ども防犯教室の開催		
(2) 「子ども 110 番の家」のプレートの提供		
(3) 児童下校時見守り活動		
3 地域防犯活動支援事業		
地域の自主防犯活動や犯罪発生防止の支援を行います。		
(1) 防犯パトロール 児童の見守り及び振り込め詐欺発生抑止を目的とした防犯パトロールを実施します。また、自治会町内会などの自主防犯活動を支援するため、防犯パトロール活動に必要な物品を提供します。		
(2) 迷惑電話防止機器の貸与 振り込め詐欺対策のため、鶴見警察署・鶴見区自治連合会・鶴見区防犯協会と連携し、区内の高齢者世帯に迷惑電話防止機器を貸与します。		

事業番号 5 自治会町内会振興事業	予 算 額
	R 6 (3,311 千円)
	R 5 (3,694 千円)
差引 (△383 千円)	

横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号9 地域コミュニティの活性化
----------------------	--

地域活動の振興等に関連する行政や団体からの情報提供や、自治会町内会の活動支援を行います。

1 地域振興連絡事業

区自治連合会の定例会後、自治会町内会に行政・団体からの情報や依頼事項等の資料配布を行います。

実 施：毎月（8月を除く）

2 地域活動支援事業

自治会町内会の加入促進や魅力アップ、負担軽減等を支援するため、アドバイザーの派遣を行うとともに、ICT機器の導入補助を行います。

実施：(ICT活用補助事業) 7～3月
(アドバイザー派遣) 10～3月 (予定)

3 自治会町内会長感謝会

自治会町内会長永年在職者に対して感謝状や記念品を贈呈します。

実 施：3月

感謝状対象：自治会町内会長5年

記念品対象：自治会町内会長5年毎、地区連合町内会長10年毎

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】地域活動推進費 (市民局)

自治会町内会及び地区連合町内会の公益的活動に対して補助金を交付するとともに、市・区との連絡調整や地域活動への加入促進事業等に取り組む区連合町内会へ補助金を交付し、その活動を支援します。

また、市政及び区政に対する協力活動に対する謝礼として、地区連合町内会長に報償費を交付します。

【再配当事業】自治会町内会館整備費補助事業 (市民局)

自治会町内会が行う自治会・町内会館の整備に関する費用に対して、その一部を助成します。

事業番号 6 つるみ・地域の課題解決事業	予 算 額
	R 6 (2,000 千円) R 5 (4,000 千円) 差引 (△2,000 千円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号9 地域コミュニティの活性化
<p>多様化・複雑化する地域課題の解決に向けて、地域が主体的・継続的に取り組めるようにするため、地域活動をしやすくする取組や、地域活動の新たな担い手・手法等に関する支援を行います。</p> <p>10月に、自治会町内会で中心となって活動されている皆様に向けた講演会を実施予定です。</p>	

事業番号 7 鶴見区新たなチャレンジ応援事業	予 算 額
	R 6 (1,160 千円) R 5 (1,220 千円) 差引 (△60 千円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号9 地域コミュニティの活性化
<p>区民や企業・団体等が自主的に実施する地域の課題解決に向けた活動に対し、補助事業の実施やアドバイザー派遣等による支援を行います。</p> <p>1 鶴見区新たなチャレンジ応援補助金事業 地域の課題解決に向けた新たな活動を支援するため、スタートアップに係る補助金を交付します。 交付団体数：8団体</p> <p>2 鶴見区地域活動支援アドバイザー派遣事業 地域の課題解決に取り組む活動を継続・発展させるため、アドバイザーを派遣します。 (12月～1月実施予定)</p> <p>3 地元企業を対象とした地域貢献講座 多くの企業や工場が立地する鶴見区の特徴を活かし、企業が地域活動に参画するノウハウ等を学ぶ地域貢献講座を実施して、企業と地域の関係を深め、協働の取組が進む機会を作ります。(11月実施予定)</p>	

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】地域の担い手応援事業（市民局）

地域の様々な課題解決に取り組む活動のきっかけづくりや、地域の各団体等が連携して、自主的・継続的に地域課題の解決に取り組む活動を支援します。

（事業内容）

協働の「地域づくり大学校」

地域や地域活動に関心のある区民と職員の相互交流やネットワークづくりを行うとともに、地域活動に関わるきっかけづくりや地域課題の解決・地域の魅力づくりに向けた実践的な内容を学ぶ場として、地域団体との協働による連続講座等を実施します。

事業番号 8 鶴見・あいねっと推進事業	予 算 額
	R 6 (1,947 千円)
	R 5 (1,031 千円)
差引 (916 千円)	

横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号 10 地域の支えあいの推進
----------------------	--

鶴見区地域福祉保健計画（鶴見・あいねっと）に基づき、地域やボランティア団体等との協働により福祉保健を中心とした様々な地域課題の解決に取り組みます。

1 第4期区計画の推進

3年度から7年度までを計画期間とする第4期計画について、その推進を図ります。

(1) 鶴見・あいねっと推進委員会

区内福祉関係者等からなる推進委員会を開催します。

推進委員会：7月、1月

(2) 地区別計画の推進

地域と地区別支援チームの協働により、第4期地区別計画を推進し、地域福祉保健活動の充実を図ります。

会 場：区内地域ケアプラザほか

参加者：延約4,000人

<地区別支援チーム>

連合町内会ごとの地区別計画推進の支援を行う、区福祉保健センターの専門職・区社協職員・地域ケアプラザ職員等で構成するチーム。

2 あいねっと推進フォーラムの開催

区計画の周知及び福祉保健活動への参加者を広げる目的で開催します。

実 施：2月

会 場：鶴見公会堂

参加者：約500人

3 第5期区計画の策定

(1) 策定検討会の開催

第5期市計画の策定を踏まえ、次期区計画について、策定作業を進めます。

実 施：10月、12月、1月

第5期市計画の計画期間：6年度～10年度

第5期区計画の計画期間：8年度～12年度

(2) 統計データの収集・集計による地域分析【新規】

第5期区計画を策定するにあたっての基礎資料とするため、年齢別人口・世帯などの基礎的な統計データのほか、高齢者・子ども・障害者等の福祉保健関係の各データ等を収集・集計し、分析します。また再配当事業で地域福祉保健に関する区民アンケートを実施しています。

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】地域福祉保健計画推進事業（健康福祉局）

第4期区計画の推進支援及び、第5期区計画（計画期間8年度～12年度）の策定を支援します。

事業番号 9 「広げよう見守りの輪」推進事業	予 算 額
	R 6 (1,153 千円)
	R 5 (1,470 千円)
	差引 (△317 千円)

横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号 10 地域の支えあいの推進
----------------------	--

ひとり暮らし高齢者や災害時要援護者など支援を必要とする人に対し、日常的な見守りや訪問活動を充実させることにより、顔の見える関係づくりを進め、緊急時・災害時に地域で支えあう見守り体制の強化・促進を図ります。

1 定期訪問・見守り活動支援

民生委員に救急医療情報キット及び高齢者連絡票を配布し、緊急時の迅速な対応に役立てます。

また、熱中症や事故予防等の保健に関するチラシを配布するなど、民生委員が行う訪問・見守り活動の一助となる取組を充実させていきます。

定期訪問・見守り活動対象者数： 2,809 名（6年3月末現在）

2 災害時要援護者支援の仕組みづくり

災害発生時に自助・共助が行われる地域を目指し、民生委員・児童委員、自治会・町内会に対して、災害時要援護者名簿を活用した取組事例の共有や地域と災害時要援護者の関係づくりを促すための動画作成・配信を行い、平常時からの災害に備えた地域の取組を支援します。

<災害時要援護者名簿の提供>

令和6年4月1日現在

	自治会・ 町内会数	対象者数	名 簿 登載者数	名 簿 登載率
同意方式	23	2,110 人	1,204 人	約 57.0%
情報共有方式	103	8,049 人	6,976 人	約 86.6%
合計	126	10,159 人	8,180 人	約 80.5%

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】ひとり暮らし高齢者等「地域で見守り」推進事業（健康福祉局）

75歳以上ひとり暮らし高齢者等の名簿を、区役所から民生委員と地域包括支援センターに提供し、3者で共有して必要な支援につなげます。区内全地区で、名簿をもとに民生委員が各戸訪問等を実施します。

【再配当事業】災害時要援護者支援事業（健康福祉局）

災害時に自力避難が困難な要援護者の安否確認や避難支援等が円滑に行えるよう、災害時要援護者名簿を作成、地域に提供し、自主的な取組を支援します。

重点施策2 区内経済・活力の向上

事業番号 10 「千客万来つるみ」プロモーション事業【重点】		予 算 額
		R 6 (6,960 千円) R 5 (7,500 千円) 差引 (△540 千円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略4 未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現 政策番号 22 観光・MICE の振興	
2027年の区制100周年に向けて、関係区局と連携して機運醸成に取り組むとともに、観光プロモーション調査(R5)の結果を踏まえ、鶴見区における効果的な観光施策の検討や公民連携による誘客企画を実施します。		
1 魅力づくり事業【新規】 令和5年度の鶴見区観光プロモーションに関する調査結果を踏まえ、区における効果的な観光施策の検討や公民連携による誘客企画等を実施します。		
◆主な取組 「鶴見 観光地域づくり意見交換会 2024」の開催		
2 魅力発信事業 「ことりっぷ横浜鶴見」や「沖縄タウン鶴見マップ」等、区内の見どころスポットやイベント等を紹介する媒体を通じ、各企画の対象に応じた効果的な魅力発信に取り組みます。		

事業番号 11 多文化のまち・つるみ推進事業【重点】		予 算 額
		R 6 (15,009 千円) R 5 (14,626 千円) 差引(383 千円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号 11 多文化共生の推進	
「鶴見区多文化共生のまちづくり宣言」や、「鶴見区多文化共生基本指針」に基づき、外国人も暮らしやすいまちとなるよう、生活情報の発信や相談対応等を充実させるとともに、区全体で多文化共生を進める機運の醸成に取り組めます。		
1 生活情報の発信【拡充】 行政からの情報が届きにくい外国人を対象に、広報よこはまに掲載されている情報や日常生活の役に立つ情報を、インターネットやFacebook等を使ってわかりやすく発信します。		
また、外国人が生活情報を気軽に入手できるようにするため、国際交流ラウンジと連携しながら、日常的に利用する小中学校や保育園、店舗等にリーフレット等を配置する「情報発信拠点」を拡充します。		
設置個所数：R5年度40か所、R6年度3か所（6年8月現在）。 6年度は10か所程度の増を予定		

- 2 タブレット端末による多言語対応事業
 複数言語の対応が可能なタブレット端末による通訳サービスを実施します。
 対応言語：英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語及びポルトガル語等
 設置台数：9台 ※経費の一部は国際局予算を活用。
- 3 翻訳推進事業
 庁内各課において作成した資料等の多言語翻訳について、区で取りまとめ、一括契約を行います。
- 4 多文化共生社会の実現に向けた啓発事業【拡充】
 各調査結果（外国人数基礎調査及び意識調査）や、5月に策定した鶴見区多文化共生基本指針（以下、指針）について、庁内全体や地域、関係機関等に周知するとともに、区全体で多文化共生を進める機運の醸成等に取り組みます。
 ◆鶴見大学での周知・啓発（留学生への指針の説明）
 実施：7月 参加者：8人
- 5 鶴見国際交流ラウンジ運営事業
 外国人に対する相談対応や情報提供を行うとともに、区内の多文化共生を推進する取組を行います。
- (1) 相談対応・情報提供
- ア 8言語（英語、中国語、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、ネパール語、タイ語、日本語）による相談対応
 - イ 情報誌「鶴見国際交流ラウンジニュース」の発行
発行：年4回
 - ウ ホームページの運営
 - エ SNS（Facebook、Instagram等）を活用した情報発信
- (2) 各種教室の実施
- ア 日本語教室・暮らしのガイダンス「カンガルーサロン」
実施：年11回程度 参加者：延20組
 - イ 学習支援教室
日本語指導を必要とする子どもたちを対象に、小学生クラスと中学生クラスを設置。
 - ウ 外国につながる子どもたちに対する支援事業の実施
主に中学生以上の子どもを対象に、進路相談や自分の将来を考えるきっかけ作りを目的とした研修等を実施します（年2回以上）。
 - エ 外国人区民と日本人区民交流イベント
実施：年6回程度 参加者：延600人
 - オ 日本語ボランティア養成講座
 - (ア) 入門講座
実施：年10回程度 参加者：20人
 - (イ) ブラッシュアップ講座
実施：年5回程度 参加者：延120人
- (3) 情報発信拠点の設置・管理運営 〈再掲〉

■■ 関連する事業 ■■

【局事業】日本語支援推進事業（教育委員会事務局）

日本語指導が必要な児童生徒に対して、国際教室の設置をはじめ、母語による初期適応・学習支援、学校通訳ボランティア（保護者向け通訳）、日本語教室、プレクラス、学校ガイダンス、各種ガイドブックの発行等を行います。

【再配当事業】外国人の集住が進む区など5区の国際交流ラウンジ機能強化（国際局）

5区（鶴見・中・南・緑・都筑区）への地域課題解決・活躍促進専任スタッフの配置を行います。

事業番号 12

商店街魅力発信事業

予 算 額

R 6 (2,331 千円)

R 5 (1,800 千円)

差引 (531 千円)

横浜市中期計画
2022-2025

戦略4 未来を切り拓く経済成長と国際都市・横浜の実現
政策番号 20 中小・小規模事業者の経営基盤強化

地域コミュニティの核である商店街が地域と連携しながら、商店街の魅力を発信することにより、商店街の振興と地域のにぎわい創出に結びつくよう支援します。

- 1 鶴見区商店街魅力発信支援事業
商店街と地域が連携した事業に補助金を交付し、支援します。
- 2 商店街にぎわい創出事業【拡充】
区内の商店街を周るスタンプラリーイベントを実施することで来街を促し、商店街ににぎわいを創出します。
実施：10～12月（予定）

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】商店街活性化イベント助成事業（経済局）

商店街が行うイベントにかかる経費の一部を補助します。

【局事業】商店街にぎわい促進事業（経済局）

物価高騰等の影響を受けている商店街等に対し、来街促進につながる取組にかかる経費の一部を補助します。

【局事業】商店街環境整備支援事業（経済局）

商店街の行う街路灯や防犯カメラ、駐車場、舗道等のハード整備にかかる経費の一部を補助します。（新設・改修・撤去）

【局事業】安全・安心な商店街づくり事業（経済局）

商店街の街路灯の電気・ガス料金の一部を補助します。

事業番号 13 地域活性化支援事業	予 算 額
	R 6 (3,500 千円)
	R 5 (3,500 千円)
差引 (0 千円)	

横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号9 地域コミュニティの活性化
<p>子どもから高齢者まで幅広い年代の区民が鶴見への愛着を深め、地域とのつながりを感じられる機会とし、地域活性化を図るため、地域との共催による区民まつりを開催します。</p> <p>1 三ツ池公園(文化・環境)フェスティバル 区民が「文化・環境」と触れ合う機会をつくり、地域に対する興味・関心を高めてもらうことで、地域活性化へ繋がりました。 実 施：5月18日(土) 参加者：55,000人 会 場：県立三ツ池公園 内 容：模擬店、ステージ発表、リサイクル関連イベント等</p> <p>2 つるみ臨海フェスティバル 区民が臨海部に親しむ機会をつくり、幅広い年代が気軽に参加できる場を設けることで、地域交流を推進します。 実 施：10月19日(土) 会 場：入船公園 内 容：模擬店、ステージ発表、スポーツ体験等</p>	

事業番号 14 地域文化・区民活動推進事業	予 算 額
	R 6 (2,888 千円)
	R 5 (2,982 千円)
差引 (△94 千円)	

横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号9 地域コミュニティの活性化
<p>区民に様々な文化活動の発表の場と、文化・芸術の鑑賞の機会を提供し、文化活動への関心を高め、地域文化の振興を図ります。</p> <p>また、区民の地域での活動を促進するため、活動を始めるきっかけとなる講座や担い手を育成する事業を実施します。</p> <p>さらに、区民が読書に親しめるよう、区民利用施設や地域の団体等とも連携することで、地域全体で読書活動の取組を推進します。</p> <p>1 地域文化推進事業 鶴見区民文化祭への補助金交付を通じて、区民の文化活動を発表する場と文化・芸術に触れられる機会をつくります。</p>	

- 2 つるみ区民活動センター事業
- (1) 相談・コーディネート・機材貸出
 - (2) 情報提供・ボランティア登録
 - ア つるみ区民活動センター情報紙「あぶりお」の発行
 - イ 生涯学習ボランティア「鶴見人ネット」登録
 - (3) 講座・イベントの実施
 - ア 生涯学習・社会教育推進講座「つるみ MACHI 塾」
 - イ 生涯学習ボランティア紹介展「鶴見人ネットフェスタ」
 - ウ 区民活動紹介展「鶴魅力」 ほか
 - (4) 区民利用施設間の連携強化
 - 施設スタッフ向け研修会・意見交換会を実施します。

3 読書活動推進事業

- (1) 読書関連施設連絡会
 - 実施：年2回
 - 参加施設：鶴見図書館、地区センター、コミュニティハウス、つるみ区民活動センター
- (2) 読書講演会
 - 実施：12月

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】横浜市民の読書活動推進事業（教育委員会事務局）

「第二次横浜市民読書活動推進計画」及び「第二次鶴見区読書活動推進目標」に基づき、読書関連施設間の情報交換や連携を深めるために「鶴見区読書関連施設連絡会」や「鶴見区の読書活動を広める連絡会」等の取組を実施します。

事業番号 15 区民スポーツ振興事業		予 算 額
		R 6 (550 千円) R 5 (550 千円) 差引 (0 千円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号8 スポーツ環境の充実	
<p>区民が身近にスポーツを楽しめる環境をつくり、健康増進や地域交流の活性化につながるよう、区民スポーツ大会やスポーツ教室等の実施を通して、スポーツの普及・振興を進めます。</p> <p>1 鶴見区スポーツ協会支援事業</p> <p>鶴見区スポーツ協会には種目別団体が21団体加盟しており、各種区民スポーツ大会やスポーツ教室を展開していることから、区民の幅広いニーズや興味関心へ対応できるよう、鶴見区スポーツ協会の各種活動と運営を支援します。</p>		

2 トップスポーツチームとの連携事業

区民が身近にスポーツに触れる機会を創出するため、トップスポーツチームと連携し、区民を試合に招待等する「区民デー」を実施するほか、各種区民まつりをはじめとする地域のイベントとトップスポーツチームの連携を支援することで、区民の更なるスポーツ振興を進めます。

実施：8月、2月

8月実施の「つるみ区民デー」概要

連携先：横浜FC

日時：8月3日(土)

会場：ニッパツ三ツ沢球技場

実施概要：GREEN×EXPO 機運醸成のためのブース出展や、地域ボランティアと連携した区民活動センターのPRのほか、沖縄関連の物産品販売など鶴見区の特徴を踏まえた企画を実施しました。

来場者数：8,900名

重点施策3 子どもから大人まで安心・元気に

事業番号 16 ヘルスアッププラン		予算額
		R6 (2,084 千円) R5 (1,926 千円) 差引 (158 千円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号7 市民の健康づくりと安心確保	
<p>市民の健康づくりの指針である「健康横浜21」の基本目標である、健康寿命の延伸を実現するため、区民の生活習慣の改善・意識や行動の変化に資する講座や啓発等を実施し、区民の平均自立期間（日常生活に介護を要しない期間の平均）を延ばします。</p> <p>令和5年度に作成した、ウォーキングマップや乳がん啓発動画を活用し、関係機関や民間企業と連携した取り組みを行います。</p>		
<p>1 生活習慣病予防</p> <p>(1) あらゆる世代への健康啓発</p> <p>地域での講座やイベント、区民利用施設、区内商業施設（健康づくり推進会議参加団体を含む）等で動画やポスター等の媒体を活用し、生活習慣病や健診・がん検診等の啓発を行います。</p> <p>会 場：区民利用施設、町内会館、区内商業施設等</p> <p>対象者：がん検診、特定検診受診対象年齢の区民</p> <p>(2) 運動普及啓発【拡充】</p> <p>区民が日常的に無理なく運動を取り入れられるように、ウォーキングマップ等の媒体を活用してウォーキングを主体とした教室やイベント等を行います。</p> <p>2 ComeCome（噛む噛む）元気大作戦！（歯科保健事業）</p> <p>(1) 親子わくわく歯っぴい講座〈*〉</p> <p>歯が生え始めた児とその保護者を対象にむし歯予防や歯磨き方法についての講座を実施します。</p> <p>また、保護者を対象に歯周病やオーラルフレイルについて啓発を行います。</p> <p>実 施：年12回</p> <p>会 場：区役所</p> <p>参加者：各回12組</p> <p>対象者：1歳2か月未満の乳幼児と保護者</p> <p>(2) 歯周病・オーラルフレイル予防等啓発</p> <p>6月の「歯と口の健康週間」や10月の健康づくり月間、両親教室（月1回）の機会に歯周病やオーラルフレイル予防の啓発を行います。</p> <p>3 食育事業</p> <p>バランスよく食べる等の食生活に関する知識・情報の普及啓発のほか、将来を見据えた健康づくりを推進するため、食行動の発達段階に合わせた講座等を実施します。</p> <p>(1) 食育イベントおよび食育研修会</p> <p>6月の「食育月間」や10月の「健康づくり月間」等で、食育に関する啓発を行います。また、食育に携わる関係者を対象とした研修会を年1回実施します。</p>		

(2) 離乳食教室

健康福祉局予算で実施する離乳食教室について、定員を大きく上回る参加ニーズに対応するため、開催回数を増やします。

実 施：年 24 回 ※うち 12 回は再配当（局予算）

参加者：各回 20 組

対象者：7～9 か月児と保護者

(3) 幼児の食育講座〈*〉

幼児期からの適切な食習慣の定着、基礎づくりを目指した講座を行います。

実 施：年 12 回

参加者：各回 20 組

対象者：1 歳 2 か月未満の乳幼児と保護者

(4) 食育ミニ講座

3 歳児健診会場で、子どもや保護者が食について学ぶミニ講座をボランティアが実施します。

実 施：年 35 回

参加者：延 2,200 組

対象者：3 歳児と保護者

〈*〉「親子わくわく歯っぴい講座」と「幼児の食育講座」は同日開催とし、親子に対する健康増進の充実を図ります。

4 鶴見区健康づくり推進会議

区内の民間企業・関係団体と区の健康課題、健康づくりの取り組みを共有し、健康増進に向けた検討を行うため健康づくり推進会議を実施します。

実 施：区内連絡会（6 月）

健康づくり推進会議（7 月）

対 象：区内の民間企業、関係団体等

会 場：公会堂

参加者：33 人

事業番号 17

感染症対策事業

予 算 額

R 6 (632 千円)

R 5 (719 千円)

差引 (△87 千円)

横浜市中期計画
2022-2025

戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり
政策番号7 市民の健康づくりと安心確保

区内施設や区民が、適切に感染症の予防や感染拡大防止に取り組めるよう研修及び啓発を行います。

また新型インフルエンザ等発生に備え、区職員を対象とした研修や他機関との連携強化を図ります。

1 区内施設向け啓発

新型コロナウイルス感染症やインフルエンザ、ノロウイルス等の感染症の知識や発生時の対応方法について、感染症対策指導者養成研修開催案内に併せて保育所、幼稚園、高齢者・障害者施設などの関連施設に情報提供します（8 月）。

送付実績：126 施設（こども施設）、211 施設（障害・高齢施設）

2 感染症対策指導者養成研修

新型コロナウイルス感染症や感染性胃腸炎等の患者発生時の初期対応を中心に、施設の施設管理者や従事者を対象とした研修を行い、対策強化につなげます。

実 施：10 月（2回）

参加者：延 80 人

3 区職員向け研修・訓練

新型インフルエンザや新興感染症・輸入感染症の発生に備え、職員が適切に対応できるように研修と訓練を実施します。

実 施：5月・6月

会 場：区役所

参加者：22 人

4 臨海3区連絡会

近隣自治体（川崎市川崎区、東京都大田区、鶴見区）と感染症連絡会を開催し、感染症対応に関する連携強化を図ります。

実 施：2月頃

会 場：区役所またはオンライン（感染症等の状況に合わせて選択）

事業番号 18

鶴見区障害児・者暮らしいきいき事業

予 算 額

R 6（ 435 千円）

R 5（ 475 千円）

差引（△40 千円）

横浜市中期計画
2022-2025

戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり
政策番号13 障害児・者の支援

障害児・者及びその家族が地域の中でいきいきと生活できる環境づくりを進め、当事者、関係者、地域の人々が障害について理解し、行動できる仕組みづくりを進めます。

1 鶴見区地域自立支援協議会の推進

障害児・者が地域で生活していくことを支援する関係機関等が情報・課題を共有し、連携して課題に取り組みます。また、協議会を活用して、関係機関職員等の質の向上に資するための研修を実施します。

< 構成員 >

基幹相談支援センター、地域活動ホーム、精神障害者生活支援センター、地域活動支援センター、障害福祉サービス事業所、支援学校、地域ケアプラザ等

(1) 会議

- ・代表者会議：年1回 実施：5月29日（水）
- ・担当者会議：年4回 実施：6月11日（火）
- ・専門部会3部会（相談・権利擁護・精神保健福祉）：隔月

(2) 研修

関係機関職員等の知識・技術の向上やネットワークの構築を図り、業務やケース支援等に生かしていくための研修を実施します。

実 施：年4回

2 障害理解の推進

地域のイベントへの参加や地域防災拠点訓練等での啓発、障害者週間に合わせたキャンペーン等を行い、区民の障害理解の促進を図ります。

(1) 地域のイベントへの参加

スポーツ推進委員連絡協議会主催のボッチャ大会参加を通じた地域との交流を図ります。

実 施：6月23日（日）

会 場：鶴見スポーツセンター

参加人数：96人（25チームのうち障害のある方のチームは1チーム参加）

(2) 地域防災拠点訓練等での啓発【新規】

災害時に配慮が必要な障害者について、地域防災拠点訓練等でミニ講座を行うなどにより、災害時における障害者への配慮等に係る啓発を行います。

2回実施（8月20日、9月1日）、他3回予定

(3) 各種キャンペーンの実施

ア 福祉施設等の自主製品（鶴っこ製品）販売支援

区役所1階ロビー、商業施設、大学等での自主製品販売支援を行います。

イ 障害者週間

施設等紹介パネルの展示や福祉施設の自主製品の販売、広報よこはま掲載等、啓発活動を行います。

実 施：12月（障害者週間に合わせて実施）

会 場：区役所1階ロビー等

3 専門職のスキルアップ研修の実施

社会福祉や保健師等の専門職向けに、困難事例等に対応する上で必要な知識・技術を向上させるための研修を実施します。

実 施：年7回

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】自殺対策事業（健康福祉局）

横浜市自殺対策計画に基づき、「誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現」を目指し、「ゲートキーパー」の育成や普及啓発の推進に取り組めます。

- ・区職員等向けゲートキーパー研修の実施
- ・自殺対策強化月間（9月、3月）において啓発動画放映
- ・鶴見図書館での普及啓発パネル展示（9月）
- ・相談支援機関等の職員を対象とした自殺に関する研修の実施

事業番号 19 鶴見区高齢者はつつ生活応援事業	予 算 額
	R 6 (1,178 千円)
	R 5 (1,268 千円)
差引 (△90 千円)	

横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号 15 高齢者を支える地域包括ケアの推進
----------------------	--

高齢者がいつまでも生き生きとした生活ができるよう、介護予防や認知症に関する啓発事業を行います。

1 介護予防事業

現役世代に向けたフレイル予防の啓発のため、済生会横浜市東部病院と連携した講演会などを行います。また、地域の介護予防活動の促進のため、啓発物品を作成しました。

実 施：12月11日（水）

会 場：鶴見区役所6階

2 認知症普及啓発事業【拡充】

認知症についての正しい理解と地域への普及啓発を目的とし、区としての認知症普及啓発を集中的に実施し当該効果を高める期間として、以下の時期において、地域ケアプラザ等での巡回型認知症等普及啓発にかかるパネル展を開催しています。

認知症サポーター養成講座等の開催については、ノベルティの作成や区役所による一括での広報を行い、地域における認知症キャラバン・メイトの活動を支援します。

実施時期：アルツハイマー月間である9月を含む8～10月

実施場所：区役所及び地域ケアプラザ等（パネル展10か所、講座9か所で実施予定）

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】認知症への支援（健康福祉局）

認知症になっても本人の意思が尊重され、その人らしく暮らし続けられるように、医療との連携、介護サービスの適切な提供を推進するとともに、地域の見守りやサービス等を含めた切れ目のない支援体制の構築を目指します。

- ・認知症高齢者等SOSネットワーク
- ・認知症初期集中支援チーム
- ・認知症に関する普及啓発（認知症サポーター養成講座、キャラバン・メイトの育成等）

【再配当事業】地域づくり型介護予防事業（健康福祉局）

介護予防は、要介護状態となることの予防や要介護状態の軽減・悪化の防止を目的とする取組みです。高齢者の心身の機能の改善のみならず、日常生活の活動を高め、家庭や社会への参加を促し、一人ひとりの生きがいや自己実現のための取組みを支援して、生活の質の向上を目指します。

- ・介護予防普及啓発事業（フレイル予防、口腔機能向上、ロコモ予防）
- ・元気づくりステーション事業
- ・地域リハビリテーション活動支援事業

【再配当事業】地域包括ケアの推進（健康福祉局）

「横浜型地域包括ケアシステムの構築に向けた鶴見区アクションプラン」に基づき、鶴見区の地域包括ケアシステムを推進します。

事業番号 20 つるみ DE 子育て応援事業【重点】		予 算 額
		R 6 (7,535 千円)
		R 5 (5,332 千円)
		差引 (2,203 千円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略1 すべての子どもたちの未来を創るまちづくり 政策番号1 切れ目なく力強い子育て支援～妊娠・出産期・乳幼児期～	
<p>妊娠中から継続した関わりで、家庭・地域の育児力をアップし、地域の子育て支援の充実と、安心して子育てができる環境を整えます。</p>		
<p>1 地域育児教室（赤ちゃん会） 原則第1子の0歳児と保護者を対象に月1回程度開催します。 実 施：1会場あたり10回程度（年200回程度） 会 場：地区センター、地域ケアプラザ等21か所</p>		
<p>2 親子の居場所普及事業 親子が気軽に立ち寄れる、親子の居場所「ふらっとる一む」にのぼり旗等を配布しました。引き続き、運営を支援します。 実 施：49か所</p>		
<p>3 多言語窓口子育て支援事業 多言語に翻訳した子育て関係のチラシや申請書類等を活用して、窓口の区民サービス向上を図ります。</p>		
<p>4 学校・地域連携促進事業 学校と地域の連携を促進する学校の活動に対して感謝状を贈呈します。</p>		
<p>5 子育て情報普及啓発事業【拡充】 新たに、地域の子育て支援サークル・団体等の把握・ネットワーク化による地域資源の有効活用に向けた調査を実施します。 また、子育てに関する情報のきめ細かい提供のため、地域子育て支援拠点のホームページ内に各情報を整理したコンテンツを掲載する他、養育者が当該コンテンツへアクセスしやすいように名刺サイズのカードを作成して配布しています。 引き続き、子育て関係の窓口手続きがオンラインでわかる「手続きガイド」の提供を行うほか、子育て情報誌「つるみ区子育て応援ガイドブック」を発行しています。 部 数：7,000部</p>		
<p>6 放課後児童健全育成事業【拡充】 放課後児童の居場所をより安全、安心、居心地の良い場所にするため、放課後児童健全育成事業に従事している職員に対し研修を行うことで、知識の習得及び意識の向上を図ります。</p>		

■■ 関連する事業 ■■

【局事業】乳幼児一時預かり事業（こども青少年局）

養育者のリフレッシュを主な目的に乳幼児を預かります。区内には「まめっこひろば」「実遊保育園つるみ一時保育室」があります。

【局事業】親と子のつどいの広場（こども青少年局）

育児にかかわる心身の負担軽減等を図るため、親子の交流や集いの場の提供、情報提供、一時預かりを行う事業です。区内には「はなはなひろば」「キッチン」「こま一ま」「Coron」「Lico」があります。

【局事業】産前産後ヘルパー派遣事業（こども青少年局）

妊娠期または産褥期（5か月未満）にあつて、日中に家事育児の支援を受けられない方にヘルパーを派遣し、育児不安や心身の不調による家事育児負担の軽減を図ります。

【再配当事業】地域子育て支援拠点事業（こども青少年局）

未就学児の親子を対象に、遊びや交流スペースの提供、子育て相談、子育て情報の提供等を行う拠点として「わっくんひろば」「わっくんひろばサテライト」を設置しています。

【再配当事業】横浜子育てサポートシステム（こども青少年局）

子どもを預かってほしい人と預かれる人が会員登録をして預かりなどの子育てニーズに対応する事業です。鶴見区では子育て支援拠点「わっくんひろば」が事務局を担っています。

事業番号 21 つるみの未来を育てる保育所事業		予算額
		R 6 (3,346 千円)
		R 5 (3,811 千円)
		差引 (△465 千円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略1 すべての子どもたちの未来を創るまちづくり 政策番号2 切れ目なく力強い子育て支援～乳幼児期・学齢期～	
<p>区内保育施設等職員に対して保育の質向上を図るための研修や園庭開放など市立保育所資源を活用した子育て支援を実施します。</p> <p>また、引き続き、保育・教育コンシェルジュによる個別相談を実施するとともに、外国籍子育て世帯に向けた保育所等一覧・マップの多言語版の作成など、きめ細やかな入所支援を行います。</p> <p>1 保育所多文化共生事業 市立保育所が中心となって、区内の保育施設等と一緒に多文化共生研修を実施します。この取組により、保育施設等職員や園児の外国文化の理解へ繋がります。</p>		

2 保育所資源活用事業

(1) 市立保育所園庭開放

市立保育所の園庭を地域の親子に開放します。また有償ボランティアを配置し、育児相談等に対応することで市立保育所を活用した育児支援を充実します。

会 場：市立保育所4園

対象者：地域の子育て中の親子

(2) 図書を活用した地域子育て支援事業

市立保育所を会場にして、子育て中の親子向けに絵本の読み聞かせなどのイベントを行うことや、絵本等の貸出を行うことで育児支援や読書の機会の増大に繋がります。

会 場：市立保育所4園

対象者：地域の子育て中の親子

3 保育所入所支援事業

認可保育所、地域型保育事業、認定こども園の定員、保育時間等、及びその位置を周知するため、鶴見区の保育所等一覧・マップ等を発行します。

また、マップの多言語版を作成します。

<保育所一覧等の発行>

実 施：10月、3月

部 数：13,000部

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】市立保育所を活用した保育資源ネットワーク構築事業（こども青少年局）

市立保育所を中心に認可保育所や横浜保育室などの保育資源とともに地域子育て支援イベントや交流会を実施します。また、保育の質向上研修を行います。

事業番号 22

鶴見区虐待予防事業

予 算 額

R 6 (4,174千円)

R 5 (3,073千円)

差引 (1,101千円)

横浜市中期計画
2022-2025

戦略1 すべての子どもたちの未来を創るまちづくり
政策番号4 児童虐待・DVの防止と社会的養護の充実

子育てに関する負担を軽減し、児童虐待やDV（ドメスティックバイオレンス）の予防を目指します。

1 親支援講座

外遊びを通じたおやこの健全育成を目的とした講座を開催します。

・子育て講座等

実 施：年1回

対 象：2歳前後の児を持つ保護者、子育て関係支援者

内 容：おやこの健全育成を促進するための外遊びの効果

2 専門家相談

子育て中の親の不安を軽減するため、専門家による相談を行います。

- ・臨床心理士による子育て中の親の相談（年 62 回）
- ・弁護士による相談（年 8 回）
- ・精神科医師による精神疾患に関する相談（年 12 回）
- ・学識経験者による児童虐待に関する相談（年 20 回）
- ・外国籍親子等に関する弁護士相談（年 12 回）

3 虐待予防中学校等出張講座

中学生を対象とした講座を行います。また、思春期の教育に関わる生徒指導専任教諭・養護教諭等を対象に研修会を実施します。

- ・中学生対象
性感染症 妊娠から出産 赤ちゃんを育てること
- ・生徒指導専任教諭・養護教諭等対象
思春期に関する研修会

4 虐待緊急対応・予防事業【拡充】

緊急性の高い虐待通報へ迅速な対応を行います。

また、寄り添い型生活支援事業「つるみ元気塾」について、支援者等に対し事業内容の理解促進につながる取組を行い、生活困窮や養育困難等の課題を複合的に抱えた世帯の小中学生に対する支援を拡充します。

■■ 関連する事業 ■■

【再配当事業】児童虐待予防啓発地域連携事業（こども青少年局）

児童虐待防止の地域への啓発を行うと共に、関係機関への研修や職員を対象にした専門研修を行い、虐待対応のスキルアップを図ります。

【局事業】産後母子ケア事業（こども青少年局）

助産所等が、デイケア及びショートステイを行い ①お母さんのケア ②赤ちゃんのケア ③その他指導相談等を行う、養育支援を目的にした事業です。市内 15 か所の助産所等で実施します。

事業番号 23 生活衛生サポート事業		予算額	
		R 6	(673 千円)
横浜市中期計画 2022-2025		戦略2	誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり
		政策番号7	市民の健康づくりと安心確保
食品・環境衛生に関する最新の情報提供・啓発や、犬猫の適正飼育啓発やねずみ駆除の支援などを行い、区民が安全・安心に快適な生活が送れるようサポートします。			

<p>1 食品衛生関係事業 高齢者施設、病院など重点対象施設への立入指導による食中毒の発生防止や、食品提供を行うボランティアなどへの助言や啓発による活動支援を行います。</p> <p>2 環境衛生関係事業 ねずみ及び衛生害虫などによる健康被害防止啓発や、駆除相談、駆除機材の貸出などを行います。</p> <p>3 人と動物の共生推進事業 (1) 犬猫の適正飼育および災害時のペット対策の啓発 ア ペット飼主向けの啓発 イ ペット防災セミナー (ア)「発災時に区内で助け合えるネットワークづくり」勉強会 6月、9月、2月 (イ) 飼い主向けペット防災セミナー 10月 ウ 地域防災拠点訓練等での災害時ペット対策の啓発 (2) 飼い主のいない猫対策事業 超音波式ねこ被害軽減機の貸し出しや、地域が取り組む飼い主のいない猫対策への支援を行います。</p>
--

<p>事業番号 24 青少年健全育成事業</p>	予 算 額
	R 6 (1,370 千円)
	R 5 (1,195 千円)
	差引 (175 千円)

<p>横浜市中期計画 2022-2025</p>	<p>戦略1 すべての子どもたちの未来を創るまちづくり 政策番号3 困難な状況にある子ども・家庭への支援</p>
<p>青少年の健全育成を図る団体を支援し、健全育成を推進します。また、地域社会において青少年が健やかに成長する空間の創出を目指し、地域の輪を広げる取組を実施します。</p>	
<p>1 青少年交流活動推進事業 (1) 鶴見区子どもサマーキャンプ事業 小学生の自然体験活動の機会の充実と異年齢交流の促進のため、主催の鶴見区子ども育成会連絡協議会に対し補助金を交付しました。また、本事業を通じて、中高生からなる鶴見区ジュニアリーダーズクラブの育成を支援しました。 実 施：7月 参加人数：61人（運営側も含む）</p> <p>(2) 青少年育成サイエンス交流事業 横浜サイエンスフロンティア高等学校・附属中学校及び区内企業と連携し、青少年の科学への興味関心を高め、想像力や探究心を育むとともに、小学生と中・高校生との異年齢間交流により、ともに育ち合う機会を創りました。 実 施：8月 参加人数：20名（小学生）、7名（中高生） 連携企業：森永製菓株式会社（協力） テーマ：「チョコレートを科学する ～おいしさのひみつ～」</p>	

(3) 区内企業との公民連携による青少年育成【拡充】

区内各企業及び学校との公民連携により、サッカー教室や工場見学、ものづくりに関する教室を開催することで、青少年が様々な社会体験をする機会を提供し、社会全体で子どもの成長を支えること、子どもの内在する力を引き出すことにつなげます。

①鶴見区・神奈川区の工場で『モノづくり』を親子で学ぼう！

実施：7月

参加人数：23人

連携企業：日産自動車株式会社横浜工場、キリンビール株式会社横浜工場（主催）

2 青少年の居場所運営支援事業

地域・団体等による青少年の居場所運営の取組に対し、補助金を交付します。

対 象：4事業

■■ 関連する事業 ■■

【局事業】よこはま東部ユースプラザの運営補助（こども青少年局）

地域において不登校やひきこもり状態などにある青少年（15歳～39歳）の自立を支援する「地域ユースプラザ」の運営費を補助します。

【局事業】ひきこもり等の困難を抱える若者の専門相談（こども青少年局）

青少年相談センター所管の補助事業として、鶴見区では東部ユースプラザの地域連携相談員が、毎月2回（第2・第4の水曜日午後）、区役所で相談支援を行います。

支援対象者は横浜市在住で、ひきこもり等の困難を抱える若者15歳から39歳の方とその家族です。

【再配当事業】寄り添い型生活支援事業（こども青少年局）

◇つるみ元気塾

生活困窮や養育困難等の課題を複合的に抱えた世帯の小中学生に対して、自信・達成感・肯定感をもたせ、円滑な学校生活を送るための支援・生活体験・総合的な支援を行う支援施設「つるみ元気塾」を運営し、必要な支援等を行います。

【再配当事業】寄り添い型学習支援事業（健康福祉局）

◇つるみ未来塾（中学生対象）

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題がある子どもたちの将来の自立に向けた基盤づくりのため、中学1～3年生を対象に高等学校等への進学に向けた学習支援を行います。

◇つるみプラス（高校生世代対象）

生活困窮状態にあるなど養育環境に課題がある高校生の中途退学防止のための居場所づくり事業を行います。また、高校生世代（概ね15歳から18歳）の子どもを対象に、社会生活に必要な情報や体験の機会を提供する事業を行います。

事業番号 25 鶴見区環境行動推進事業【重点】		予 算 額
		R 6 (1,150 千円) R 5 (2,000 千円) 差引 (△850 千円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略3 Zero Carbon Yokohama の実現 政策番号 18 脱炭素社会の推進	
<p>地域や企業との連携のもと、GREEN×EXPO 2027 に向けた機運醸成や、プラスチックごみの分別・リサイクルの拡大を契機とした脱炭素行動の啓発を推進します。</p> <p>また、「つるみ・ちゅうみ サマースクール 2024」企画にて海洋環境保護のPRイベントを行うとともに、小中学校に対し、民間企業等による環境や社会をテーマとした出張授業・工場見学への参加を促すことで、こどもをはじめ各家庭での環境への意識を高めていきます。</p>		
<ol style="list-style-type: none"> 1 横浜・沖縄の企業等と連携した海洋環境保護PRイベント 実施：8月 対象：小学4～6年生 会場：横浜ベイブリッジスカイウォーク（8/5）、サルビアホール（8/31、9/1） 2 脱炭素行動に係る区民参加型企画 日常生活で実践できる脱炭素行動を幅広く紹介するとともに、プラスチックごみの分別・リサイクルの拡大に向けた周知啓発を行います。 3 企業等と連携した区内小中学校向け出張授業・工場見学の紹介 掲載講座数：27 講座 		
■■ 関連する事業 ■■		
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>【再配当事業】GREEN×EXPO推進事業（都市整備局） GREEN×EXPO 2027 開催に伴い、区民まつりをはじめ、多くの人が集まるイベントやスポットでのPR等を実施し、認知度向上や機運醸成に取り組みます。</p> </div>		
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>【再配当事業】各区における地域に根差した緑や花の楽しみづくり事業(環境創造局) ガーデンネックレス横浜 2024 開催に伴い、鶴見区のみどりに親しむイベント等を実施し、まちの魅力向上やにぎわい創出に取り組みます。</p> </div>		

事業番号 26 つるみクリーンタウン事業	予 算 額
	R 6 (3,816 千円)
	R 5 (3,412 千円)
差引 (404 千円)	

横浜市中期計画 2022-2025	戦略3 Zero Carbon Yokohama の実現 政策番号 19 持続可能な資源循環の推進
----------------------	--

3 R 行動、特にプラスチック対策や食品ロス削減等を通じて脱炭素化を推進するため、普及・啓発活動を区民と共に推進します。

1 3 R 推進事業

プラスチック対策や食品ロス削減について普及、啓発を進めます。

(1) 区民向けイベントでの 3 R 啓発

- ア 三ツ池公園フェスティバル(5月18日)
- イ つるみ臨海フェスティバル(10月) ほか

(2) 食品ロス削減に向けた普及啓発活動

区役所常設の食品回収箱をはじめ、フードドライブ活動を実施・支援します。

(3) 保育園等での環境学習

子どもたちの意識を高めるため、小学校・保育園を対象に出前講座を行います。

(4) 生ごみ堆肥化の普及啓発

生ごみを活用した土づくり(土壌混合法)の普及に向けて、公共施設や保育園等での出前講習を行います。

(5) 「ヨコハマ プラ 5.3 (ごみ) 計画」、プラスチックの分別方法変更の周知【拡充】

新たな横浜市一般廃棄物処理基本計画「ヨコハマ プラ 5.3 (ごみ) 計画」の内容や、プラスチックごみの分別リサイクル拡大について、周知・啓発を行います。

2 鶴見区クリーンアップ事業

地域清掃の支援、不法投棄防止に向けた啓発を実施します。

(1) 鶴見クリーンキャンペーン

地域の各団体へごみ袋や軍手を配布し、清掃活動を支援します。
実施回数：年2回

(2) まちかど花壇事業

不法投棄を防止するため、花苗を配布し、地域の花壇整備を支援します。
実 施：春・秋(年2回)

(3) 喫煙マナー啓発

ポイ捨てや歩きたばこを防止するため、喫煙禁止区域を中心にマナー啓発を行います。

3 道路ふれあい月間関連事業

鶴見駅周辺地域で一斉清掃を実施し、道路の重要性を再認識してもらい、道路の正しい利用の啓発を図ります。

実 施：10月

■■ 関連する事業 ■■

【局事業】 不法投棄防止対策事業 (資源循環局)

不法投棄の多い場所において夜間監視パトロールを行います。

《施策実現に向けた行政運営》

事業番号 27 鶴見区広報・広聴事業	予 算 額
	R 6 (3,084 千円) R 5 (3,202 千円) 差引 (△118 千円)
<p>あらゆる年代や国籍等の区民に対し、必要な情報が的確に届くよう各種媒体を活用し、多角的な広報事業を展開します。</p> <p>また、区民ニーズや地域の課題を把握し、区政運営に反映させることを目的に、広聴事業を展開します。</p> <p>1 広報・広聴事業</p> <p>(1) 区ウェブサイト等その他広報事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多言語対応の広報誌閲覧サービスアプリによる発信 ・SNS、区ウェブサイトによる区政情報の発信 ・鶴見区のマスコットキャラクター『ワックン』の活用による区のPR <p>(2) 広聴事業</p> <p>「市民の声」事業に基づき、区民や地域の意見を収集します。</p> <p>広聴受付件数〔令和5年度：442通〕</p> <p>2 生活・防災マップ等発行事業</p> <p>(1) つるみ生活・防災マップ 〈事業番号1-1(6)(P.40)再掲〉</p> <p>発行：12月 部数：17,000部</p> <p>(2) 鶴見区バスマップ</p> <p>発行：3月 部数：9,000部</p> <p>3 鶴見区シティプロモーション推進事業【新規】</p> <p>区内各課の情報発信を充実させるための、「鶴見区シティプロモーション力向上に関する取組」に基づき、広報スキルを高める研修等を行い、すべての職員が住みたいまち・訪れたいまちとして鶴見をPRできることをめざします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ゼロからはじめる広報」研修 5月実施 参加者22名 ・政策経営局連携・デザイン基礎研修 7月実施 参加者12名 	

事業番号 28 鶴見区人材育成推進事業		予 算 額
		R 6 (1,165 千円) R 5 (1,165 千円) 差引 (0 千円)
横浜市中期計画 2022-2025	戦略2 誰もがいきいきと生涯活躍できるまちづくり 政策番号 11 多文化共生の推進	
<p>全職員が鶴見区に対する愛着を持ち“チームつるみ”の一員としてより一層意欲・能力を発揮できるよう人材育成に取り組むとともに、区民一人ひとりが人権問題の重要性を認識しうるよう人権啓発に取り組みます。</p>		
<p>1 人材育成推進</p> <p>人材育成や人権啓発、職員企画・提案型など様々な研修を通して、職員として必要なスキルの習得や意識改革を進めます。</p> <p>(1) 人権啓発研修（責任職グループ研修、職員向け研修） 6月～</p> <p>(2) 職員企画・提案型研修 7月～</p> <p>(3) 改革推進委員会 7月～</p>		
<p>2 人権啓発</p> <p>区民一人ひとりが人権問題の重要性を認識し、人権感覚を磨く機会となるよう、市民向け人権啓発講演会を開催します。</p> <p>実 施：12月</p> <p>会 場：鶴見区民文化センターサルビアホール</p> <p>参加者：500人</p> <p>別途、動画撮影しオンライン配信も実施します。</p>		

事業番号 29 魅力ある区役所づくり事業		予 算 額
		R 6 (14,526 千円) R 5 (15,206 千円) 差引 (△680 千円)
<p>区民の多様なニーズに的確に対応できるよう、区役所環境の整備を図り、区民が利用しやすい区役所の実現を目指します。</p>		
<p>1 魅力ある区役所づくり</p> <p>区役所窓口や事務スペース及び庁舎周辺の環境の整備・改善を図り、来庁者が利用しやすく、清潔かつ快適な区役所にします。</p>		
<p>2 一時託児サービス</p> <p>乳幼児を伴って区役所を利用される方の利便性を向上するため、区役所1階の託児施設（キッズランド）において、月・水・木曜日の8時50分から16時10分（12時から13時までを除く）までの必要な時間、乳幼児を預かります。</p>		
<p>3 ICTの活用促進</p> <p>オンライン会議システムやサーバーの維持・管理、庁内のペーパーレス化などICT環境の整備・保全による区民サービスの向上や業務効率化を図ります。</p>		

鶴見区に関連する主な局事業

① 神奈川東部方面線「相鉄・JR直通線」の鶴見駅停車の検討 (都市整備局)

神奈川東部方面線「相鉄・JR直通線」の鶴見駅停車実現に向けて、地域とともに取り組めます。

② (仮称) 豊岡町複合施設の検討 (財政局)

豊岡小学校建替えをきっかけに、鶴見図書館、鶴見保育園等との複合施設整備の検討を進めていきます。引き続き、事業計画の策定等を進めます。

③ 東部方面斎場 (仮称) の整備 (健康福祉局)

新たな斎場を大黒町に、令和9年3月中の供用開始を目指して整備していきます。引き続き、建物本体工事等を進めます。

④ 踏切の安全対策 (道路局)

生見尾踏切など歩行者の安全な通行に課題のある踏切について、安全対策を進めていきます。

⑤ 鶴見川人道橋整備事業 (道路局)

令和6年度は、橋桁の架設工事やスロープ工事を予定しており、令和7年春の供用開始を目標に事業を進めます。

⑥ 末吉橋架替事業 (道路局)

令和5年度は、旧橋梁の撤去工事を完了し、新橋梁の工事に着手しました。令和6年度は、引き続き、新橋梁の橋脚工事などを進めます。

⑦ 小学校の建替え (教育委員会事務局)

矢向小学校は建替えの工事を進めていきます。上末吉小学校は設計を進めていきます。

⑧ 北寺尾六丁目サムエル公園 (みどり環境局)

令和5年度は、実施設計の実施及び公園整備工事に着手しました。令和6年7月に全面オープンしました。

⑨ ニツ池公園 (みどり環境局)

獅子ヶ谷池側の整備に向け、引き続き設計等を進めるとともに、一部護岸の改修工事に着手する予定です。

⑩東寺尾六丁目の古民家等

(みどり環境局)

歴史的建造物である古民家を生かした公園整備計画の検討を進めていきます。

⑪(仮称) 東部児童相談所の整備

(こども青少年局)

令和8年4月開所に向け、令和6年度は実施設計を進め、建築工事に着手します。

⑫公有地を活用したシェアサイクル事業

(道路局)

令和4年度から開始した横浜市広域シェアサイクル事業社会実験に基づき、公有地へのシェアサイクルポート設置を引き続き進めていきます。

令和7年度 鶴見区予算編成の考え方について（案）

令和7年度の鶴見区予算では、「横浜市中期計画 2022～2025」の基本戦略である「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」のもと、鶴見区が将来にわたり誰もが“いつまでも住み続けたいまち”となることを目指して、3つの重点施策に取り組みます。

区民の皆さまの声をしっかりと把握し、データの活用や創造・転換の視点を持って、予算編成を行います。

また、令和9年度の「GREEN×EXPO 2027」及び「鶴見区制 100 周年」に向けて、地域・企業・団体の皆さまと連携して、取組を進めていきます。

< 3つの重点施策 >

1 地域力の強化

風水害、地震及び都市災害等に備え、自助・共助の取組推進など、地域における防災力の向上を図るとともに、自治会町内会等の活動支援や、地域と連携した防犯・交通安全対策など、地域力強化の取組を進めます。

2 区内経済・活力の向上

多くの外国人が暮らすまちとして、誰もが安心して暮らせる多文化共生を推進するとともに、「鶴見区制 100 周年」を見据えて、地域・企業・大学等様々な主体との連携により、鶴見区内の地域資源を生かしたにぎわいづくりを進めます。

3 子どもから大人まで安心・元気に

身近な地域での子育て支援や健康づくりなどの取組をより充実させるとともに、良好な環境を次世代に引き継ぐため、「GREEN×EXPO 2027」の機運醸成とあわせた脱炭素行動のさらなる推進を図り、あらゆる世代がいきいきと安心して暮らせるまちづくりを進めます。

< 施策実現に向けた行政運営 >

人権や多様性を尊重し、区民目線とスピード感をもって、区民の皆さまに寄り添ったサービスを提供し、信頼される区役所づくりを進めます。

